

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	柳澤 伸一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
西洋の歴史と文化	1・2・3・4	後期	選択	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	受講動機では、「関心のある内容である」を挙げた者が71%と高く、「単位数を確保する」を挙げた者が43%であった。高校世界史の履修を前提に、ヨーロッパ世界の過去と現在のつながりを絶えず具体的に指摘することで、受講生のヨーロッパ史への関心が一層深まるように心がけた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	成績は、優ないし良の者が多く、秀の者と可の者もいた。到達度自己評価では、全項目3.1～3.4で、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」や「専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」等が3.4であった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は、総合人間科目の一つで、DP1、3の位置付けがされている。到達度自己評価に関する上記の結果から、十分とは言えないものの、一応、内容的妥当性があったと思われる。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業は、教科書を使い、毎回、テーマに沿ってレジュメ1枚と関連資料数枚を配布し、基本的に講義形式で進めた。資料の作成に当たっては、過去と現在の関連が捉えられるように心がけた。講義を踏まえて、ヨーロッパ世界とビザンツ世界との構造比較に関して、また、キーワードの説明に関してレポートを課したことは、授業への理解を深める上で有益であった。予習・復習に関しては、学生任せにしたきらいがあり、30分以上の予習・復習をした回数が2、3回以下にとどまっていることから、教員には課題を具体的に与える姿勢が求められた。
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	高校までの世界史の履修を前提に、講義を通してヨーロッパ史について新しい知見を与えることは出来たと思うが、アクティブラーニングを促す工夫では改善の余地がある。
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
アジアの歴史と文化	1・2・3・4	後期	選択	いいえ	44

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	1. 受講動機をみると「単位数を確保する」55.2%、「関心のある内容である」62.1%となっております。学生の関心を引き出し、もっと多くの学生に履修してもらえるように、シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。 ②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③演習の7回目にレポートを提出してもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は87点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解に関しては93%、意欲関心に関する問題は100%であった。それぞれの目標がやや達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、意欲関心、態度の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。 図書館、インターネットの利用に関しては、それぞれ、13%、19%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、意欲関心、態度に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「アジアの歴史と文化」であるが、「海外研修」「アジア観光文化交流論」をつなぐ要の位置にある。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均が3.6で、昨年度より、高くなった。次年度に向けては、学生がもっと積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

本科目は「アジアの歴史と文化」であるが、「海外研修」「アジア観光文化交流論」をつなぐ要の位置にあるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。
また、学生の知識理解、意欲関心、態度を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八木 康夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
健康科学実習Ⅱ	1・2・3・4	後期	選択	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①受講者には、夏休み明けと後期末における体力測定および体組成（体脂肪量等）の測定を行ない、実体験した運動量と、自己の身体組成や健康度との関係が把握できるようにした。 ② 各受講者は、自己の体格に合わせた最適運動量を算定し、各自にカロリーカウンターを貸し出し装着させ、毎時間の自己の運動量を記録し把握させ、運動意欲を喚起した。 ③ 1および2について毎時間記録と評価を行い、期末でそれらをまとめて実習期間全体の自己評価を行わせ、健康度と運動量、体組成の変容と運動量、身体運動能力の開発の程度と運動量の関係が理解できるように努めた。 ④健康科学実習Ⅱでは、職場や地域で行われている個人またはペア種目であるラケットスポーツを導入した。 自己の技能到達度の把握とそれに基づく技能獲得目標の設定、ルールや競技器具の正しい使い方と物理的性質の把握による種目の理解、ペア同士の個人的理解に基づく勝利を目指した積極的チームワークの形成を促した。その結果、参加態度は積極的行動に変わったと思われる。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された			
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	①29名が受講し、最終的な成績の平均値は78点であり、再試対象は0名で履修放棄1名あった。全員が標準的レベルに達したと考える。理想的レベル（概ね80点以上として試験を作成）に達したものは16名と、欠席する者少なく全員が積極的に受講していたと考える。73%の学生が関心ある内容として選択し、他は単位取得を目的としている。 ②目標に関して以下のように思った人数は、アンケート22名、達成した22名、知識の取得20名、理解思考力アップ19名、課題解決できた19名、判断力獲得19名、意欲向上19名、技術獲得19名、コミュニケーション力獲得20名、職業倫理行動規範学習19名、職業選択の参考27名と非常に様々な学習効果があったと考える。 ③授業の質を以下のように思った学生数は、回答者22名中、評価基準明確20名、学習課題明確21名、分かりやすい説明18名、学生の意見交換発表の場あり18名、質疑応答の場あり19名と答えており、ほぼ質的によい状況と考える。 ④学習量では22名中、全く予習しなかった者17名、復習しなかった者17名、記録をしなかった者12名、授業以外の学習なし21名と、普段の生活での身体活動遂行には至っていないと思われる。 ⑤授業の情報利用に関して回答者22名中、シラバスを参考にした者は13名、授業計画を立てた者15名、シラバスで受講6名中1名、教員の説明で受講は6名中2名で、半数がシラバスを参考にし、加えて教員の説明も重要と考える。 ⑥授業に関連した図書館の利用者（22名中）は1名、データベース利用1名、インターネット検索1名であった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①C P、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性 本科目は「総合人間科目」であるが、必須科目に位置付けられ、初年度教育における友達つくりやストレス解放、健康づくりに最適である。また、管理栄養士として運動の原理原則を実体験し確認する場として有用である。学生は積極的であり一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考ええる。 ②D P、行動目標からみての内容的妥当性 成績評価から思考判断に関する達成度が比較的高く、カロリーカウンター装着による目標運動量の達成意欲、試合数と勝利数の記載、体力体型の縦断測定比較考察は方法的に成功しており、妥当性は高い。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

試合毎に、試合の内容の反省、チーム員の役割の適切さ、勝つための役割などについて短時間で話し合い、チームとして記録用紙にまとめた。その繰り返しは積極的な参加態度、リーダーシップを産み出し、集団の中の自分の役割を意識するよう促した。更に状況によっての言葉かけのタイミングを検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

授業目標への達成を受講者が評価しているが、さらなる学生の積極的な参加態度を産みだし、健康作りのための授業以外の運動習慣を促し、生涯スポーツを持てるような動機付けができるようにさらに改善したい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	河岸 重則

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生活の中の化学	1・2・3・4	後期	選択	はい	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	①受講生は高校時代に「化学」を履修した人が少なく、また「化学」に苦手意識を持っている人が多い。加えて、ほとんどの受講生が「単位確保」を目的としての履修のため、授業内容を易しくて、日常意識していないが注意してみると「化学」が生活の中にたくさん存在していることを理解し関心をもってもらうことを目的とした。 ②上記の目的のため講義内容をその時間内に理解することに重点をおいているので特に「予習・復習」を求めているはない。 ③数回、確認テストを行い、理解度のチェックを行なった。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	①試験を資料持込で行い、その資料を理解しているなら点数のとれる形式で行なった。平均点は76.5点であった。ただ1名再試験該当者がいた。 ②身の廻りの化学から受講生のおのおのが自分でレポートの課題を決定して提出させたが、全員きちんと仕上げていた。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	科目は「一般教養科目」であり、また選択科目、学科横断的科目である。試験の点数、レポート内容から、内容的に妥当であるとする。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

全学年が受講対象であるため、授業に対しての取り組み方に違いがある。3年生になると単位さえ取ればいいという学生が見受けられ、彼らに対する対応を検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

一般教養としての化学の内容として特に問題はないと考える。化学は範囲が広いので、学生に意見を聞いて学生がさらに興味を持つような講義項目を加えるのも課題かもしれない。また、上の項目でも述べたが、あまり勉強する気がなく、とにかく単位がとればいい、という感じの学生をどう扱うかも課題である。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	末廣 幸恵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
生活と環境	1・2・3・4	後期	選択	はい	69

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	①日々変化する環境問題や国際関係を取り上げるために、教科書は使用せず、適時レジュメと参考資料を配布した。②理解の難しい用語や組織、団体、事象に関しては新聞記事、インターネット、動画等を利用し、学生が取り組みやすいように工夫した。③重要な項目に関しては、授業内で学生同士で議論をさせ答えを導き出せるように指導した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	成績の平均値は81点、再試対象者は9名であった。標準偏差値はSは32名、Aは13名、Bは8名、Cは6名、Dは9名であった。高得点者が全体の半数を占めたが、点数の低い学生も全体の1割強いた。これは授業で取り上げた環境問題や国際関係等に関心や熱意を示す学生とそうでない学生との結果が反映されたものと思われる。しかし、DPにおいては大半の学生が各項目について高い評価をしている。これは定期試験の結果とも矛盾しているようにも見える。これは試験が論述式で、暗記内容が多く、関心を持てても、自己学習のモチベーションを高めるまでには至らなかった学生が居る結果だと思われる。選択科目であったため、受講動機においても単位数の確保を目的とする学生が5割強、授業内容に関心を持ち臨んだ学生は5割、また友人が履修しているも2割いた。選択科目に関しては、学生の興味や関心が低いと結果も振るわない傾向が見られる。しかし大半の学生が「知識の確認、修正、新たに得る」「視点や考え方を得ることができた」「課題を検討する力」「的確に判断する力」「必要となる技術」等で概ね良好な評価を示した。これは授業で新聞、テレビ、インターネット等の多様なメディア教材を使い、学生の興味を促した結果と思われる。このDPの結果から選択科目が学生にとって新たな視点や考え方を養う良い機会と捉え、興味や関心を持てるような工夫を授業に導入し、加えて地道な自己学習が成果へと繋がれることを指導する必要があると感じた。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性：観光学科のCPに明記されているように「知識と教養を培い、総合的・分析的視点で問題を捉える能力を伸ばす」「学びと現代社会・関係諸領域との関係を理解できるようにする」目的として、本科目は目的になかった内容となっており、内容的に妥当性があると考えられる。②DP、行動目標からみての内容的妥当性：授業内容から学生には現代社会の情報収集が要求され、DPの到達自己評価は平均値を全て上回ってはいたが、数名の学生は低い評価をしていた。これは、クラスの約4割弱の学生がシラバスを参考にしていないことから判断すると、授業の主な目的や内容についての知識が無く受講したために、学生各人に興味のばらつきが生じた可能性があると考えられる。シラバスには図書館、インターネット等を活用し、情報収集が必要であることを明記していたので、図書館利用の学生が前年を上回る結果となった。またDPの「職業倫理」「職業選択の参考」では概ね平均以上の評価を示す学生が多く、観光学科の学生の学習ニーズにもあった内容となっていたと考えられる。全般的にクラスの雰囲気は良好で、真面目に学習に取り組んでいた。以上から内容的妥当性には問題がないと思われる。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	①授業の質評価：「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が与えられていた」の評価は高かった。大人数の授業にも関わらず、国内外の諸問題をグループで話し合い、発表するなど学生に参加する機会を務めて作った結果が数字に表れていると思われる。②学習量の評価：授業に参加するための予習、復唱をしなかった学生が半数以上であることから、授業中での復習を兼ねた小テストやレポートの提出を検討している。③学修のための情報利用、図書館利用： シラバスを参考にした学生は約4割弱であり、選択科目として単位数を確保するためと答えた学生数とほぼ一致することから、本科目に対する関心のある学生と単位数の確保のための学生とに二分された結果となった。オリエンテーションでの本科目の目的と内容に関する情報を的確に伝える必要性を強く感じた。図書館利用に関しては、利用者数が若干ではあるが増えたことから、更に図書館利用を促す取り組みを行い、また国内外の事象を学習する観点から、メディア等を利用した積極的な情報収集が学習内容の一つであることを指導強化したい。
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	選択科目は単位数を確保する目的で受講する学生が多い中、本科目は受講動機で「関心のある内容である」「友人が履修している」を挙げている学生が少なからずいた。このことを踏まえて、学生の国内外の事象に対する関心の幅を広げ、これを深めるための良い機会と捉え、オリエンテーションで授業に関する情報を的確に伝え、情報の精査活用や図書館利用の強化を促したい。
-------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	花沢 明俊

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
情報科学演習Ⅱ	1・2・3・4	後期	選択	はい	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	高校までの学習状況で、パソコンの扱いに慣れている学生とそうでない学生が混在しているため、課題を平易なものから高度なものまで段階的に用意し、高度な課題の一部は上級者のみを対象としたオプション扱いとした。15回の授業回数のうち、中間試験を含む第8回までは基礎技術の習得を行い、第9回以降はグループワークによる実践的な取り組みとすることで、学習意欲の継続と学習内容の定着に努めた。 授業アンケートの受講動機では、「関心のある内容である」が高率であり、実際、個人差はあるものの全体的に経験値が高く、授業進行が容易であった。受講人数が少ないことから、そもそもパソコンの扱いが苦手な学生は履修せず、特に得意な学生だけが集まったという印象である。よって、もともと得意な学生の能力を伸ばす、という授業スタンスになったが、専門能力そのものではなく、その基盤となる技術習得を目指すという授業趣旨からは逸脱しているように感じる。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	成績点は、課題の提出やプレゼンテーションなどのプロセス評価50%と、中間・期末試験の点数による達成度評価50%から構成されているが、課題の提出率が非常に高く、目標達成のためのプロセス遂行が確実に行われた。結果として、試験の点数も全体的に良好であった。 授業アンケートの到達度自己評価では、達成度の高い学生と低い学生のばらつきが大きく、その原因の一つは、出席率の高い学生と低い学生に2極化していたことが挙げられる。 学習量の評価については、テキストによる予習を推奨したが、授業アンケートの結果から実際の予習回数は低率であった。予習とリンクした課題を設ける等の改善策を検討したい。授業外の課題を行っている学生は少ないが、これは授業の課題量が多く、一部は宿題となるため、授業外の課題を行う必要性は少ないと考えている。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は、全ての学科に存在する学科横断の科目であり、在学中のレポート作成や発表など様々な場面で必要となる。さらには、就職後の実務において、全学科の学生が要求される内容である。このような観点から、学生それぞれの学習準備性の高低にかかわらず、全員がある一定レベルの技術水準を達成すること、授業終了後も技術習得を継続できるよう、受動学習だけではなくグループワークによる能動学習を行うこと、これら2点を柱としている。授業の妥当性が真に問われるのは、3年生、4年生の実践の機会や、就職後であるが、このような将来の展望から必要性を理解した受講動機の割合は非常に高いものの、履修率が低いため、本科目の意義を理解している学生は、学科の全学生の1割程度と推測される。授業オリエンテーションなどを通じた履修率の改善を望む。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

出席率の低い学生に関して、講義前半での技術習得が不十分、講義後半のグループワークが機能しない、などの問題が生じていた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

課題の提出率が非常に高かったことから、授業目標達成のためのプロセス遂行は、問題なく行われたと考えられる。また、結果として試験においても全体的に高得点であり、高い達成度が得られた。ただし、出席率の低い学生については、前半での技術習得、後半のグループワークでの実践ともに不十分となった。段階的な技術習得のため、一度欠席すると、それ以降の内容全ての理解に支障をきたすため、欠席しないよう常に注意喚起していたが、より徹底したい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	金 銀英

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
韓国の社会と文化	1・2・3・4	後期	選択	はい	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	韓国の社会・文化全般にわたる概論としての授業であるため「現在の韓国」について取り上げた。学生の受講動機は「関心のある内容である」が最も多く、グループ発表を重視する評価をしているため、毎講義のテーマについて自発的に調べるように誘導した。これによって韓国に対する知識を培うことはもちろん、これから学生たちにあるであろうプレゼンテーション能力を養うことができたと思う。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	定期試験の平均成績は77.46と高い達成度が見られた。 また到達度自己評価の全項目にわたり高い評価を得られている。概論の授業として「2.知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均点が「4.7」であることをはじめ中央値が5点の項目が10項目中4項目と、所定の成果を得られたと思われる。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラム上の位置付けからみでの内容の妥当性 「授業の質評価」での高い評価が示すように学習の範囲や課題を明確に提示し授業中の説明も明瞭に伝わるよう工夫をした。また当初の計画通り授業を進めたため、学生たちの満足度が高かった。 ②DP、行動目標からみでの内容の妥当性 予習や復習に時間を割くよりグループ発表での調べ物に力を入れるように指導した。シラバスに明記しているように「自発的な授業参加」を促した。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題ないと思われる。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に 単にお示ください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など	昨年度は授業の質評価において、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られた」で3.2の評価を受けた。英語学科と共同授業であるため七十人前後と大人数での講義のため学生一人一人に細やかな指導が不可能だったが、今年は三十人以下の授業だったことにも助けられ「授業の質」全項目で高い評価を得られた。これからも続けたい。
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	学生からの「到達度自己評価」や「授業の質評価」で高い評価が得られたことから学生たちも満足できる講義内容と思われる。これからも「現在の韓国」への理解を深められるよう工夫を重ねていきたい。
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	福田 達也

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
日本国憲法	1・2・3・4	後期	選択	はい	20

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	受講生が板書をノートにきちんと書き留めるように、あえて配布資料・プリント等の厳選した。そのため、毎回のように講義に出席し、説明を漏らさずに聞いている学生と、講義中の説明等を聞いていなかったり、欠席が多い学生との間に、講義内容の理解に大きな差が生じたように感じた。以上により、学生の学習準備性については、講義の予習よりも毎回の授業の復習を行うという傾向が強いのではないかと推断する。受講動機については、多くの学生が単位数の確保のためと回答しており、日本国憲法に興味を抱いて履修する学生が少ないので、今後は履修した上で日本国憲法に興味を持てもらえるよう工夫を施していきたい。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	やや達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	試験の成績については、全体として高得点者が多く、上記の目標はほぼ達成できていると思われる。しかし、学生による授業評価によると、到達度自己評価の全ての項目において、多くの学生が③の「まあまあそうだと思う」および④の「わりにそうだと思う」を選択しており、試験の成績とは別に学生の授業内容の理解に努力が必要であると感じた。学習量の評価については、0時間と回答する学生が多いので、今後は授業時間内だけでなく授業時間外学習をしなければならないよう工夫を施していきたい。さらに、授業時間外学習時間が少ないことと併せて、図書館やインターネットの活用についても、利用していないと回答する学生がほとんどであったので、上と同様に今後の課題としたい。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性については、ほぼ問題ないと思われる。日本国憲法は基本的には、まずは制度の内容や基礎理論の理解が重要であり、知識・理解の面が極めて重要であると考えられるためである。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の進行方法については、現在のところは変更を検討していない。上記3においても触れているが、毎回授業の概要を示したプリントの配布をすることの意義については理解しているが、これにより授業の際の説明を不十分に聞いてしまう学生が発生するのではないかと危惧している。板書による講義スタイルを採用しているが、板書だけでなく、説明を聞いていないければ内容の理解に至らないようには工夫している。受講生自身が、板書の文字だけでなく、補足説明を聞きながらそれぞれのノートテイキングを行い、理解を深められるようさらなる工夫を考えたい。講義中における概要プリントがない分、毎回の授業の説明をきちんと聞いておかなければならないという意識を学生に持ってもらえたらと考えている。現在のところは、試験の全体的な成績を見てもわかるように、このスタイルである程度は理解が高まっているので、今後、全体的な成績がさがらうであれば、概要プリントの配布も検討していきたい。
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	上記4においても触れているが、学生の授業時間外学習をいかに確保するかが今後の最重要課題と認識している。適宜、課題を課す等、積極的に取り組んで行きたい。やる気が出なかったとの自由記述もあったので、如何に学生に興味を持って学習に取り組んでもらえるか検討したい。
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	麻生 恵美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
フランス語Ⅱ	1・2・3・4	後期	選択	はい	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	志望動機によれば最も多かったものが「関心のある内容である」66.7%であり、未知の語学であるフランス語に対する興味・関心・期待の高さが例年以上に伺えた。その他の志望動機は「単位数を確保する」66.7%だった。本年度よりコミュニケーション・アプローチを念頭に置いた教科書を採用し、班活動によってフランス語を構造の面から知的に理解することを重視した。質問や要望があれば自己評価シート（ポートフォリオ）に書き、次回授業時に全員で共有するようにした。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は58.7点（±85.8点）であり、定期試験を受けなかった者が2名いた。その2人を除き全員が標準的レベルに達し、理想的レベルの80以上に達したのは33%（S評価1人、A評価1人）であった。平均値を下回るC評価（60点台）に該当するのは2人（33%）だった。学習到達度の自己評価を目標別に見ると、「まあ達成できた」～「大いに達成できた」と回答したのは、DP1「知識・理解」、DP2「思考・判断」、DP3「関心・意欲」、DP5「技能・表現」のいずれも100%という結果だった。本科目の該当DPは5「技能・表現」のみだが、その他のDPでも高い自己評価となった。学習量の面では、1回30分程度以上の予習・復習を週に1回以上行ったのは100%であった。就職活動やゼミなどに時間を割かねばならない生活の中でも、学習時間を取っていたことが伺える。自由記述によれば「フランス語学習アプリで日常的に勉強した」者がいた。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目はカリキュラムマップ上の「総合人間科学」の「国際社会と現代」であり、総合人間科学のCP「知識と教養を培い、総合的・分析的視点で問題を捉える能力を伸ばす科目」という観点到相違なく、学生は一定の成績を収めていることから、内容として妥当であると考え。 ②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 DPの観点では、全般的評価に当たる「自分なりの目標を達成した」の質問に「まあ達成できた」～「大いに達成できた」と回答したのは100%であることから、内容として妥当であると考え。「先生の教え方が上手くて嫌だった外国語勉強も好きになった」との記述も見られた。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性に問題はないと思われる。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、おおむねどの項目も評価は高かった（平均値は3.3から4.3）。グループやペアで話し合って答えを導く協同学習を主体とし、昨年度と比べさらに会話やコミュニケーションを重視した授業計画につとめたことが高評価につながったと推測する。合間に挟んだフランスの音楽や映像視聴も好評だった。一方で、授業の課題以外に学習に取り組まなかったのは33%であった。身近な事柄を表現できるよう、日常的にフランス語を使ってみることが語学力向上のカギだという基本的な考え方をもっと広める必要があると感じた。来年度はより効果的な教科書の選定を行い、自習に効果的な参考書やサイト、フランス語検定、フランスに関する図書の紹介に努めたい。
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	総合人間科学のCPに合致する協同学習の結果、高い自己評価が得られ、一定の成績を残すことができた。協同学習によって個々がさまざまなエクササイズに主体的に取り組めた。今後も教員が一方向的に「教える」のではなく、学生同士で「学び合う」授業スタイルを徹底させていくことが望ましい。また志望動機の調査で表れた「関心の高さ」を、半期を通して、その先もいかに持続させていくかにも留意したい。そのために、フランス語を「遠い言語」とせず、授業外でもっとフランス語に親しめるよう、魅力的なコンテンツを利用させるなど、教科書だけにとどまらない学習方法を提示していきたい。
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	金 銀英

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ハンゲルⅡ	1・2・3・4	後期	選択	はい	24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	初級レベルの語学力をつけるのがこの講義の目標であり、前期の「ハンゲル1」に引き続き受講する学生がほとんどであるため授業動機が「関心がある内容のため」が最も多いのも頷ける。 また講義内容の節目に小テストを実施することにより学生に学習状況を認識するようにした。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	定期試験の平均成績は73.33点であった。 また到達度自己評価の全項目にわたり中央点が4点と高い評価を得られている。特に「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」が4.2と高い評価をうけたことから当初の目標に達したと思われる。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラム上の位置付けからみでの内容の妥当性 授業は計画通り進み、「授業の質評価」で示すように学生たちの満足度も高かったことが分かる。 ②DP、行動目標からみでの内容の妥当性 学習量評価をよると、教材を用いた予習・復習には時間を割けなかったが、担当教員への意見によると、自分が興味のあるもの、例えばK-popで韓国語の発音練習をしたり、動画を見て聞き取りをしたりと多様な取り組みをしていたことが分かる。シラバスに明記しているように「積極的な姿勢での授業参加」ができたことが分かる。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題ないと思われる。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、全項目において高い評価を得られていることから授業進行に問題がなかったと思われる。学習量でも各自のレベルに合わせて学習を進めているので問題ないと思われる。これからも学生たちが積極的に学習できる素材を紹介しようと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

学生からの「到達度自己評価」や「授業の質評価」で高い評価が得られたことから学生たちも満足できる講義内容と思われる。これからも韓国語と韓国の文化、さらに異文化への理解を深められるよう工夫を重ねていきたい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	篠原 征子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中国語Ⅱ	1・2	後期	選択	いいえ	20

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は中国語の基礎知識を学習するものである。中国語Ⅰで習った知識を復習しながら、会話練習、作文練習することを通して、学習者に分かった、できた、通じたという喜びを感じさせ、中国語を話せる自信を付けていくことが、授業の実施にあたりもっとも大切だと考えた。今回の受講動機を見ると「関心のある内容である」が95%で、そのほか「単位数を確保する」が25%であったが、到達度自己評価の(8)コミュニケーション力や表現力を高めることができた項目では平均値が4.3であった。この授業は成果があったと言える。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は83点であり、再試対象は0名であった。全員が標準レベルに達し、理想的なレベル(おおむね85点以上として試験を作成)に達した学生は大多数である。 学生による到達度自己評価において、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができたものの平均値と中央値は共に4.5で、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値は4.3、中央値は4.0であったことから、おおむね教育目標達成したと言える。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置付けからみての内容の妥当性 本科目は「総合人間科学」に属する選択科目であるが、観光文化学科の「専門教育科目ー中国語通訳ガイド演習や観光中国語など」の基礎となる重要な位置にある。しかし、受講者は「中国語通訳ガイド演習」や「観光中国語」を受講するつもりのある学生ばかりではない。受講動機は主に「関心のある内容である」であったので(73.8%)、中国語、日本語、英語を比較しながら、授業を進めるように工夫し、学生も一定の成績を収めていることから、内容的に妥当であると考ええる。 ②DP、行動目標から見ての内容の妥当性 「成績評価」と「学習到達度自己評価」などの平均値から見て、内容的には妥当であったと考ええる。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価を見ると(1)(2)(3)(4)(5)の中央値はすべて5.0である、平均値は(1)(2)(4)は4.6で、(3)(5)は4.7であることから、大多数の学生は授業の趣旨を理解し、授業の進め方を肯定し、真剣に取り込んだ。授業内容や進み方は学生に適していると考え。 学生からの担当教員への意見には「中国のことをよく知ることが出来ました。とてもわかりやすい説明で、もっともっと中国のことを知りたいと思うような楽しい授業でした。」「楽しく中国語を学ぶことができ、中国にいつか行ってみたいなあと思いました。」「丁寧な指導して頂いたので、たくさん知識が増えました。中国語に最初は少し抵抗があったけれど、楽しく学べて、好きな授業でした。また先生の授業をうけたいです。」「先生の授業が、西南女学院に入ってから一番好きで、毎週楽しみでした!これからも先生の授業をうけたいです。いつもニコニコで、とても素敵な方だなと思っています。」「中国語だけではなく、中国の文化、歴史についても学ぶことができ、楽しかった」などがありました。
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	「総合人間科学」の一科目として、それから「専門教育科目--中国語通訳ガイド演習及び観光中国語」を受講するに必要な予備知識としての本科目の位置づけから、基礎知識の形成についてはおおむね達成できた。 授業以外の学習方法の指導、とくに図書館の利用に関しての不足点は来年度に改善を行いたい。
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
中国語通訳ガイド演習Ⅳ	4	後期	選択	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	1. 受講動機をみると「単位数を確保する」50%、「関心のある内容である」20%となっており、履修者が「中国語通訳ガイド演習Ⅳ」を勉強するメリットについて、まだ実感できていないことが分かる。「中国語通訳ガイド演習Ⅳ」を勉強するメリットについての説明を行う必要があると思われる ②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③授業中に翻訳と発表を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は88.5点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解、意欲関心、技能表現、態度に関しては、90%であり、それぞれの目標がやや達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、意欲関心、技術表現、態度の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。 図書館、インターネットの利用に関しては、前者は、60%以上で、後者は40%となっているが、図書館やインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、意欲関心、技術表現、態度に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「中国語通訳ガイド演習Ⅳ」であるが、「海外研修」や就職をつなぐ要の位置にあり。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、各項目については、評価が良かった。特に「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の評価は良かった。次年度に向けては、学生がもっと積極的に参加できる機会・環境を作っていきたい。
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	「海外研修」や就職をつなぐ要の位置にあるとの位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、意欲関心、技術表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。
------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①時期が進むにつれて、卒論制作に充当する時間が増えてくる。全体指導で通用する部分と個別指導で行う部分がある。すべてを個別指導で行うことはできないので、コアになる部分は全体指導で、個別の事例は個別指導で行うことにした。しかしながら、就職活動の日程により、全体指導に加われない学生が出てくる授業が繰り返されることが多くなり、そこまでは授業計画に組み込めないところがあった。そこは個別指導で補うことになった。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	達成された	達成された	やや達成された	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	①全体としては、7名中、A3名、B4名であり、標準的レベルには十分に達していた。②卒業論文のテーマは、人文学部の観光文化学科という枠組みに反しない限り自由にしており、自分の興味関心のあることを選ぶことで、積極的に文献を選び、理解することで、知識理解、意欲関心は達成された。③思考判断は、卒業論文の論理的構成について、授業で、または一対一の個別指導で繰り返し行い、深化していった。④アンケート項目の「情報利用」では、回答者6名中全員があらかじめ授業の計画を立てたとしており、卒論への取り組みの心構えができていた。⑤卒業論文制作では、研究倫理のチラシ「研究活動をする学生・教職員のみなさまへ」を配布し、「盗用」等を絶対しないように指導した。しかしながら、安易にネットのコピーペーストをする者もあり、最後の最後まで倫理性については、注意し続ける必要があった。⑥技能表現については、卒論を提出できるまでの過程でそれが身につけていたことになる。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①1年前期の基礎演習Aから、演習研究科目を積み上げて、3年の専門演習Ⅱ、4年の当科目へと系統的につながっており、内容的な妥当性はある。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	①就職活動による欠席が、4、5月に従来より多くあることは、現在の就職活動に日程が変わらない限り、どうしようもない。しかしながら、そこは授業外に欠席者だけを集めて、短時間でも補講的な時間をもつことぐらいで、補うしかない。②ゼミ（3.4年の2年間）の最初に2年間を見渡した大まかな計画書（卒業論文仕上げマニュアル）を配布している。それを毎年、社会環境や学生の実態に合わせて、修正しながら提示している。アンケートで、授業の質の評価で、「（1）テスト、レポート、提出物などの評価基準はあきらかであった」の項目は、3.8であり、妥当なところだと思われる。③図書館利用については、「図書、雑誌を利用した」「インターネットのホームページを検索し、利用した」が、それぞれ6名中5名が、「利用した」としている。
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	①C P、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 4年生の必修の通年科目という位置づけは学生にも強く意識されている。どのゼミに所属するかは、本人の意思によるものであり、動機づけはできている。このことから学生の努力の成果が成績に出ていることで、内容的には妥当だと考える。②D P、行動目標からみでの内容的妥当性 最終的に提出された卒業論文の仕上がりから、D Pの項目は達成されたと考える。 ②まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	須藤 秀夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	はい	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	卒業論文で追及することを「問い」（問題意識）の形で明示し論文の狙い（「背骨」）をはっきりさせること、論述の組み立て（論理展開）を分かりやすくすること、主張の論拠（データ、事例など）を示すこと、自分の意見と事実、他人の意見とを区別して記述すること、これらを強調して指導している。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	授業評価の中の「到達度自己評価」において「自分なりの目標を達成した」4.5（前年4.1）、「知識」4.4（4.0）、「視点や考え方」3.9（3.7）——「判断する力」3.8（3.6）、「意欲」3.9（3.9）、「職業倫理、行動規範」3.9（3.4）、「必要となる技術」3.6（3.2）ならびに「コミュニケーション力」4.4（3.2）、以上から上記の通り考えた。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	観光文化学科DP1[知識・理解]の「社会人としての基礎的な学力」「ビジネスの領域についての幅広い理解と知識」、DP2[思考・判断]の「現代社会の実態を学際的な視点でとらえる能力、問題解決に必要な思考力」、DP3[関心・意欲]の「地域や諸外国の問題への関心」、DP4[態度]の「職業としての礼儀作法やマナー」、CP5[技能・表現]の「情報処理の知識と技能等」に、本科目は資すると考える。内容は上記学生の目標達成状況からほぼ妥当と考えている。悩ましい点は、担当教員の専門分野である国際金融の分野を扱う卒論がほとんどないことであるが、学生の関心・希望する分野やテーマを尊重しているので、致し方ないところではある。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

前期末に卒論10枚、後期初めに15枚、後期途中で18枚、12月中旬に20枚と、量および質においてステップアップさせて、着実に進行することを狙ってきたが、この進め方は、学生も支持しているので、今後も続けたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

学生による「到達度自己評価」は各項目について前年度よりポイントが上昇して、学生の取組み姿勢の向上が伺えるので、好ましいと考える。一方、学生の扱うテーマがほとんど国内事象になっているので、各テーマについて海外との比較などできるだけ海外に関係する事項を取り入れ視野を広げるように指導していきたい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	友原 嘉彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目「卒業研究」は学生にとって学士課程4年間の集大成であり、1年間かけて学士としてふさわしい卒業論文を書き、仕上げることを目標とした。担当したこのクラスでは卒業論文にかかり、夏までに研究課題を決定し、夏季休暇中に調査・分析、秋以降、仕上げていくという形を取った。ほとんどの学生がこの通りに行ってくれたが、ごく少数ではあるが、なかなか研究課題（とそれにかかる研究方法）が決められず、二転三転してしまう者もいた。しかし、結果的には全員、学士としてふさわしいと認められる卒業論文を執筆することができた。1年間に渡った授業は全体として有意義なものになったと確信している。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	授業は真摯にわかりやすく行ない、また、受講者各人の努力もあって単位修得率は100% (7名中7名修得)と高い数値を出すことができ、全員無事に卒業することができた。なお、「秀」の者、「優」の者はそれぞれ1名ずつで各14%であった。「秀」の者は学科の優秀卒業論文として表彰された。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は演習であり、期末試験を実施せず、卒業論文とそれにかかる部分部分の進捗状況の発表を中心に評価を行なった。内容は概ねよく、枚数や締め切り日も概ね守られていた。来年度も全員に単位を修得してもらえるように担当者としてもさらに真摯に努力したい。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示ください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など	「演習」科目ということで、特に双方向の授業を心掛けた。受講生には授業中に積極的に意見を求め、また、受講生同士での議論も歓迎した。上述のように1ヵ月に1度程度、卒業論文の進捗状況等について、A4用紙2-3枚程度のレポートを提出してもらった。その結果、自分で考えるという作業に慣れてもらうことができ、今後の人生に繋がる一助となりえたと思う。
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	すでに示したように授業の工夫や丁寧な対応により、概ね良質な講義となったと考える。受講者全員が単位を修得できたこともあり、充実した授業となったと確信している。今後も1人1人とのコミュニケーションを密にするなど、一層よりよい授業を築いていけるよう真摯に努力していきたいと考える。
------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	就職活動の影響で卒業論文の執筆が遅れることを予想し、早目にとりかかるよう指導を行った。学生には無理をせずに、これまで積み重ねてきた研究を継続することを勧めた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	全員が締め切りの1か月以上前に卒業論文を完成することができた。書き進めるスピードが速いため、指導する時間が十分に確保された。結果として、十分な指導を経た完成度の高い論文を全員が書き上げることができた。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	大学生生活の総括的な科目であり、内容的には現状が妥当であると思われる。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業のみならず、授業外において新聞を読む学生がいるという回答があった。このことは、卒業論文のレベルを上げることにもなっていると思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

授業の出席状況、参加態度が良い上に、卒業論文の完成度も高く、理想的な授業であった。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	卒業研究はこれまでに学んで得た知識とアプローチの仕方を生かしながら、学生各自がそれぞれの専門領域における学習の中で最大の関心事として選んだテーマを明らかにし、その問題への考察を深め、見通しを持って一つの仮説を立ててみる方法に習熟するのは学習の狙いである。従って、先行する研究の成果を収集する力、それらを批判的に理解する力、仮説を立てる構想力、仮説を論文として展開する力などを養うことに置く。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	やや達成された	達成された	達成された	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	学生による授業評価においては、目標別にみると、自分なりの目標を達成したことに関しては、全員が比較的に達した。知識を確認、修正したり、新たに得ることができたことに関しては、理想的レベルに達した。卒論を書くには論理的に筋道立てて考え、自分の言葉でわかりやすく、口頭及び論文で述べる能力を習得できている理想的レベルに達していないが、標準的レベルに達している。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置付から見ての内容的妥当性 本学科は卒業研究は四年間集大成の位置にあり、必修である。学生の成績を収めていることから、ないようには妥当であるとする。 ②DP、行目標からみての内容的妥当性 学生が積極的に課題を考え、問題を思考判断としてなにを 論述するかが確実把握できたことから成績は上昇したことも、内容的には、妥当であったと考える。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均が3.3%となり、「口頭発表、文章等の学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均が3.2%となった。「期間内に行うべき学習の範囲や課題はあきらかであった」の平均が2.7%しか上がらなかったことも反省点である。次年度に向けては、しっかり確定しながら授業に参加するよう促していきたい。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	卒論研究にあたる本学科の位置づけから四年間の勉強の集大成の形成については、概ね達成できたが、この授業を履修する際にシラバスの活用などを図りたかったが、無視されていて、次年度しっかり確認してもらうことを促していきたい、また、毎回の狙いを具体的に示すこと。可能な限り卒業論文を独特に考慮し、意識的に提示するようにすることを改善を行いたい
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	木沢 誠名

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	ゼミの実習拠点である「れとろこまち」の運営を中核に、社会人基礎力の向上に努めた。特に、土日に行う北九州市立大学との共同事業や、地域の商店主、観光事業者との協業を重視し、座学ではそれらの経験をPDCAサイクルに沿って議論した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	特に根拠はない。全体的に判断している。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	特記すべきことはない
---	-------------------

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

特記すべきことはない

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	学生が各自で選択した卒業研究テーマについて資料収集し、それを自分なりの視点で分析できる能力要請に重点を置いた。各学生に2週に1回の研究進捗状況の発表を課した。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	学生個々のレベルさがあるのは当然であるが、アンケート結果によりDPはほぼ達成されたと評価する。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	受講動機、学習到達度ほ自己評価等により、本科目自体の内容妥当性はあると評価する。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、
インターネット利用」学生の意見など

授業の質の評価についてはやや達成されたと思われるが、アンケートにおける学習量
の評価、情報利用、図書館利用の低さは卒業研究自体の質に関わる重要な
課題と考えられ、改善を要する。改善方策については、課題量の検討、研究
の質的な向上を常に意識させる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

達成状況はやや達成したと判断するが、上記で記述した学習量、情報利用等が
課題である。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	Malcolm Ross Swanson

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
Oral English II	1	後期	必修	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	This course is divided into two sections: Skills and Communication. For my classes, I taught "Communication". We used the textbook "iTravel" (MacMillan Language House) which offers students many chances to communicate using English in fairly authentic situations. During each lesson, students had ample opportunities to create conversations, question and answer each other, practice listening, and perform presentations. This is similar to the programme in the English Department.
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された					達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	Students were assessed on 5 criteria (Attendance 15%, Classwork 25%, Presentations 30%, Final test 20%, and e-Learning 10%). All students scored well in all areas. For the final assessment, grades ranged from 84% to 96% with an average of 89.15%. This was a very motivated class who were a pleasure to teach!					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	In this class, the students worked hard and showed a strong attitude towards learning, so I felt DP4 was achieved. There were no problems with absences, participation in class was always strong, and homework was generally done. We focused a lot on building their basic skills, particularly in vocabulary, and students were able to make steady gains. The only area of concern in these classes is maintaining a constant and ongoing study discipline. Students often use a leaps and bounds approach, whereas small and steady gains will help them achieve much better language competency.
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	Our goals in this course for the next year include: 1. Creating more collaborative materials for all teachers to use, 2. to create a better system of assessment criteria that offers more chances for communicative tasks, 3. to make assessment even more transparent so that students are able to self-monitor more.
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	Last year I stated in the English Department reflection, "we still need a stronger system of assessment which better reflects their true ability and progress. Students need to be given a clear set of goals we wish them to achieve, and these would include 1. A set of "I can..." targets for each unit of work, 2. A definitive set of vocabulary items to master, and 3. Performance tasks with clearly defined assessment criteria. Although we don't wish to get into a similar system of assessment driven instruction as can be found in high schools, we do need our assessment tools to more accurately reflect the progress of each student." To a large degree, we achieved this, but we still need to solidify these aims.
------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	Andrew Anthony Joseph Zitzmann

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
Oral English II	1	後期	必修	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	This course is divided into two sections: Skills and Communication. For my classes, I taught “Communication”. We used the textbook “iTravel” (MacMillan Language House) which offers students many chances to communicate using English in fairly authentic situations. During each lesson, students had ample opportunities to create conversations, question and answer each other, practice listening, and perform presentations. In addition, all students took part in two e-learning programmes: CHieru, for developing general skills, and Word Engine, for building vocabulary.
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された					達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	Students did well in all assessment areas (attendance, classwork, presentations, final test, and e-Learning). There was a lot of energy in the class.					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	In this class, the students worked hard and showed a strong attitude towards learning, so I felt both DP3 and DP4 were achieved. There were no problems with absences, participation in class was always strong, and homework was generally done. For DP1 and DP5, although we focused a lot on building their basic skills, particularly in vocabulary, many students did not make significant gains. The main reason for this was probably that they started with extremely weak skills in all areas, so have many hurdles to cross.
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

It is important to continue to build on the students' skill set and encourage them to use the skills they have already learned in communicative manner.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

In this course the biggest hurdle was the textbook. Although the content was acceptable the random nature of the units made it difficult to offer a smooth transition from one topic to the next. It also required a lot of additional material to fill out the program.

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	Kenneth Maynard Gibson, Jr.

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
Oral English II	1	後期	必修	はい	50

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	Lesson preparation was not very good, so I tried to give very little homework. Most homework done by the students was just copied from others just before class.
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された					やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	The few who actually studied did make good progress, but most just did the minimum required to get the credit.					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	In class the students did well for the most part. Of course there were a few problem students who really under performed, but in the actual classes most students were very active and spoke a lot.
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

I do not set the goals or make the curriculum for these classes.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

???? I don't understand the question, but I guess the biggest challenge is just to get the students to more than the absolute minimum they need for a credit.

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	Marne Saddy

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Oral English II	1	後期	必修	いいえ	24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	This course is divided into two sections which focus on basic skills and communication based learning. The textbook for the communication component of the course was “iTravel” (MacMillan). Weekly lessons provided meaningful practice of both listening and speaking skills through a variety of interesting travel topics. The short focused lessons allowed students to practice using functional language in very practical work and leisure situations.
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された					達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	Assessment was based on attendance 15%, class work 30%, homework 5%, dialogue presentations 30%, and a final test 20%. Students scored well in most areas of assessment with the majority of students receiving a grade in the 75-85 range.					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	Through active participation, students helped to create a very positive and encouraging learning environment. Students were also encouraged to challenge their language skills through dialogue manipulation, role plays and supplementary exercises. Overall, students improved their speaking ability by achieving a higher level of language acquisition and production.
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

Goals for the next academic year include better instruction on note taking, lesson review, and vocabulary building exercises. Although students generally performed well in class and rated themselves satisfactorily on the "I can..." targets, they often failed to review weekly lessons and could not recall the target language and grammar in the following class.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

Better instruction on how to use class workbooks to encourage careful note taking, completion of homework and lesson review may help keep students focused on clear objectives for each class.

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	野中 誠司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Intensive Reading II	1	後期	必修	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は必修科目であり、受講動機においても全員がそのことを認識したうえで履修していた。前期で学んだ英文法および英作文を活用して、英語の読解力を習得すること、授業外でも英文を意識的かつ強制的に読む訓練を行った。具体的には、学科で每期行っている英文の「多読レポート」（各自が図書館から英語の本を借りて、内容についての描写や感想を英語で書くレポート）の提出を求めた。前期同様、受講生の習熟度レベルが高いことも考慮して、授業では英字新聞を活用した比較的短い英文記事を編集した教科書を用い、読解にくわえて読んだ内容についての意見交換なども行った。授業開始前から全員が毎回の小テストの準備を熱心に行うなど、受講生の真摯な学習姿勢や態度が非常に印象的であった。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な全体の成績平均値は94.1点で、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達し、100点オーバーの得点を獲得した受講生も3名いた。平素の授業において発表するなどの授業貢献度においては、平均スコアが20点の配点に対して16.3点であった。毎回全員が指名以外の形で自ら挙手を行い、積極的に授業に参加していた。前期と受講生が同じだったこともあり、クラスのスタイルにも慣れており、特に挙手に対する抵抗などのアレルギー反応は見られなかった。この点は前期から改善された点であり、他の学生からも刺激を受けて、積極的な学習姿勢に転じたことの証左であると理解している。小テストに関しては、他の科目と異なり期末の定期試験を実施しないため、この小テストの配点が非常に高く設定された。60点の配当で平均値は38.7点であった。3名ほどが毎回のテストの得点にばらつきがあったが、それ以外の学生は安定して高い得点を維持できていた。非常に良い結果を得ることができたことに安堵している。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目が必修科目であることから、全員が与えられた課題をこなした。到達度自己評価においても、(7)自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた、(8)コミュニケーション力や表現力を高めることができた、などの質問項目に対して、全員が「そうだと思う」を選択回答していることから、内容的妥当性には問題はないと考える。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価項目中、(5)口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた、の質問に1名が「少しそうでないと思う」の項目を選択していた。前述のとおり、受講生の習熟度レベルが高いのと前期と同じメンバーであった点を自分で過信・盲信していたのではないかと反省している。受講生は同じでも、科目が変わると当然学修する内容も異なるので、学習意欲なども変化する。そうした微細な変容にも的確に対応することで、学習意欲の維持向上を図っていきたいと考えている。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	今回担当したクラスは、習熟度の高いクラスであったので、全体的な達成状況についてはおおむね評価できると考えている。しかしながら、今後は習熟度の高くないクラスを担当する可能性もある。英語の苦手な学生にとっては、英文を目にただけで途端に意欲をなくすなどのアレルギー反応が出る場合もある。今後の課題として、英文に対するマイナスイメージを払拭するための取り組みを検討したい。具体的には、学生が興味・関心を持ちそうな内容を記した比較的短い英文を速読・多読・精読などを通じて読解力の改善を図っていき、最終的に学生自らが英文を主体的かつ能動的に読む習慣を身につけるための環境支援・整備を行いたい。
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	村田 希巳子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Intensive Reading II	1	後期	必修	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	多読の授業なので、しっかり多読を促し、毎週感想を英語で書いてもらい、提出させ、訂正することで英作文のアップも狙った。教科書は、新出単語のテストを行い、単語力アップも狙った。さらに予習をしっかりと調べたので、学修準備の量が多く、「忙しかった」「課題が多かった」の意見があり、「予習した」「小テストの勉強」の取組みがみられた。「単語のテストで手いっぱいだった」という学生もいたが、負荷がかかった授業だったようである。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された					やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	単語のテストは、1回10点満点、10回行った。その合計を2で割って25点満点にした。学生の平均は17点とまあまあの成績である。満点を取るように負荷をかけたので、まあまあ成功したと考えられる。多読は全員10回出したので、20点の加点があり、11回目を出した人には1点プラスした。単語25点、多読20点、復習テスト55点とし、100点満点としたが、平均が78点とまあまあの成績だが、一定の成果が見られた。負荷が大きかったが、学生の意見は、「楽しい授業」だったとあったので、あまり苦痛を感じていないことが良かった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	必須授業なので、モチベーションは低いようだが、真面目で頑張る学生が多く、課題を与えとどんどん伸びていくのがよく分かる。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業は、明朗活発な学生が多かったが、「楽しい授業」だったのは、いいような悪いような、複雑な気持ちである。「英語絵本をたくさん読むようにした」という学生もいて、多読が功を奏しているのが分かる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

やる気はあまり感じられないが、負荷を加えたとのびるので、上手に負荷をかけていきたい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Intensive Reading II	1	後期	必修	はい	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	必修科目であり、英語が苦手な学生でも履修をするため、そのような学生でも授業について来れるように配慮した。具体的には、学力に応じて、ヒントを出したり、それぞれにあった学習方法の指導ができるよう事前に考えておいた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された					達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	受講生12名中の10名が80点以上の成績であった。レポート課題も学生たちは、遅れることはあっても全員が提出していた。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	英語系の科目ということであり、それに沿った内容で妥当であった。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の課題以外には取り組んでいないと答えている学生があり、私の指導（情報提供）が十分ではなかったと反省している。シラバスと口頭では伝えていたが、印刷物にして配布することでさらに徹底したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

最終的には学生がよく理解し、高い得点を取ることができたのが良かった。ただし、残念ながら今後はこの科目を担当する予定がないため、ここでの経験を直接は活かすことができない。

学科	観光文化学科
氏名	薬師寺 元子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
Intensive Reading II	1	後期	必修	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考に記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	授業の実施にあたり大切にしていることは、昨年同様、積極的、且つ、能動的な学習態度を軸と致しました。①まず出席とレポートの提出が肝要であると強調致しました。②次に予習、復習を必須とし、特に予習に重点を置くように勧めました。③さらに、予習復習を徹底するためにノートを作り、その使い方を詳細に説明致しました。まず教科書の英文をノートに写し、和訳をし、新出単語を調べてくる。これは、ほぼ全員の学生が実行致しました。『授業以外に具体的に取り組んだ学習』の自由記述に、「高校の参考書を見返した」、「多読をプリントに記録した」、「英文をノートに写した」とありました。少々難易度の高いテキストを使用致しましたので、実際は、大変時間が掛かる予習だったと推測致しますが、皆一生懸命準備を致しました。『授業の課題以外に学習に取り組んでない理由』に「課題だけで手一杯だった」、「課題が多かったから」とありました。語学の学習は、繰り返しと忍耐力も必須ですので、沢山課題を出しました。④英語の Reading の授業ですので、授業に入る前に、自宅学習と致しまして次の範囲を4回以上音読することを義務付けました。しかし、昨年同様、これは、あまり、実行されていなかったと推測致します。『受講動機』は、必修科目ですので、全員真剣に取り組んだと判断いたします。学生の『自由記述意見』としまして、「後期もとても楽しく授業を受けることが出来ました。有難うございました」とありました。少数のクラスなので、行き届いた授業が出来たと思います。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	①全員が、標準的レベル以上に達し、最終的な成績の平均値は100点満点中のdクラス(83点)であり、再試対象者は0名でした。80点以上で、理想的なレベルに達したのは、12人名中9名でした。「多読のレポート」提出に関しましては、全員が目標の10回分以上に達しました。総計が1000ページを越した学生が12名中2名で、最高が、1983ページもの英文を読破致しました学生がおりました。従いまして、図書館の利用は十分になされたと判断致します。②「日本の事象について英語で説明できる」に関しまして、テキスト暗記用の小テストを9回実施致しました。これも前期同様、準備が十分な学生と不十分な学生の個人差がかなりありました。小テストの様式は穴埋め問題ですので、難易度は、標準的なものを作成いたしました。テキストの『日本の事象英文説明』をもう少し時間をかけて重層的に幅広く説明できれば、もっと、理解が深まるのではないかと判断致しますが、時間が限られておりますので、簡単に致しました。『学生の到達度自己評価』につきまして肯定的な解答は、(1)自分なりの目標を達成した83.3%。(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることが出来た(91.6%)。(3)事象(自然、人、社会、歴史など)を理解する視点や考え方を得ることが出来た(91.6%)。(4)自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることが出来た(約83.3%)。(5)自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることが出来た(91.6%)。以上のように学生の学習に対する到達度自己評価は、かなり高い。(10)職業選択の参考になった、という点でも、肯定的な解答が83.3%という結果となっております。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	カリキュラムマップ上の本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価に関しまして、①CP、本科目は人文学部観光学科の必修科目であります。昨今、グローバル化が進み、英語の発話力が問われてきました。しかしコンピューター時代に突入したため、それ以上に、正確な英語の読解力が求められます。精読により、語彙力、文法力を徹底的に修得することが肝要でありますので、中心的必須科目の位置にあるといえます。学生の本科目に対する到達度自己評価に、「知識を確認、修正したり、新たに得ることが出来た」、「事象(自然、人、社会、歴史など)を理解する視点や考え方を得ることが出来た」、「自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることが出来た」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることが出来た」等に関するものが、8割以上を占めていますので、本科目の内容的妥当性を確信致します。②DP、行動目標から見ての内容的妥当性に関しまして、学生が達せきすべき行動目標は、1. 長文の読解が出来る。2. 日本の事象について英語で説明できる。3. 習慣として英文を読むことが出来る。以上3つも事項が挙げられています。「長文の読解が出来る」につきましては、世界遺産を中心にした教科書により、知識を広めながら、英文を確実に精読致しました。これにより、語彙力、文法力を強化できたと考えます。次に「日本の事象について英語で説明できる」に於きましては、決められた範囲を理解し、音読し、暗唱し毎時間小テストを実施致しましたが、平均点に個人差がありました。最高平均点10点満点中9点、最低の平均点は2点、で全体の平均点が6.1点でした。最後に「習慣として英文を読むことが出来る」ですが、これも英語の原書の童話等の多読により、毎週、ストーリーの粗筋、読後感想の提出義務により、かなり、実践できたのではないかと確信いたします。③まとめ、以上から、前期と同様に、内容妥当性には全く問題はないと判断致します。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業を振り返りますと、英語力には、かなり差がございましたが、一人一人、とても一生懸命に、授業、プレゼン、家庭学習に取り組みました。特に、DVDを使用し、英語でパリの町を案内するプレゼンは、ほぼ、全員が、完璧に近いレベルで熟しました。大変、教えがいのあるクラスでした。授業の質評価につきましては、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」では、「まあまあそう思う」と「わりにそう思う」と「かなりそう思う」を合わせると、１００％であった。「期間内に行うべき課題は明らかであった」では、８３．３％であったが、「説明は理解しやすいものであった」では、１００％であった。「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」では、９４．２％であった。「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、其れに答える機会がつくられていた」も、１００％であった。以上総合いたしますと、ほとんどが、進め方につきまして、好意的でございましたが、「期間内に行うべき課題は明らかであった」に関しましては、「少しそうでないと思う」が２名いましたので、全員が満足するような解答になりますように、「アンケート用紙」を活用したり、学生と直接話し合ったりし、次回も工夫を凝らす所存でございます。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	本科目に対する学生からの「担当教員への意見」と致しまして、学生のコメントは、「説明が解り易く授業もとても楽しかった」、「内容的に難しかったが、一つづつ丁寧に教えて頂けたので解り易かった」、「とても楽しく面白い授業でした」。以上のような学生からのコメントは、今後の自身の、授業に対する励みになっております。 本科目は、「英語の精読」、「多読」、「日本の事象を学ぶ」という３つの要素からなる幅広い教科でございます。その分、毎回の授業の準備に、資料集めや、プリントの準備、教科書の予習、復習など大変多忙な教科でございます。一応標準的レベルである「辞書を使って長文の読解が出来る」、「月３冊の英文の本を読むことが出来る」は、達成できたと判断致しますが、「授業で学んだ日本の事象について英語で説明できる」点に於きましては、まだ、完全とまではいきませんが、日本事象を英語で説明できる段階に達成しつつある学生が、少数ですが出て参りました。今後は「アンケート」で学生の意見を取り入れたり、「学生一人一人と直接コミュニケーション」をしっかりと図りながら、勉強に対するモチベーションを上げていきたいと存じます。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Extensive Reading II (dクラス)	1	後期	必修	はい	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①マルチメディア教室（6208）の機能を生かして授業を行った。この教材（E-learning のCH1eru）を使つての学習であり、ポイントは教員とのやり取りではなく、学生一人当たりの学習量を効率的に増やすことであり、授業内外の学習量を増やすことを目標として示した。また、基礎的な英語学習の習慣付けをするためにも、締切を二種類に分けて、計画的に学習ができるように課題を出した。締切の一つは、毎回の授業に関わる締切で、もう一つは、毎月そして学期最後を締切にする課題を予め示した。自由記載の評価には、「4. 学習量の評価（3）授業の記録はどうしていたか」では、「教科書」「パソコン」と二つが示されていた。授業で使ったE-LearningのCH1eru（チエル）は、入学以来の学習記録の質的・量的記録が、ネット上で学習マイル数として蓄積されていく。それが学習者本人にもわかるようになっているので、やりがいを感じての学習ができるように計画を立てている。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	アンケートでは学習量の評価においては、予習が0回が4名。復習が0回が9名と出ている。しかしながら、学生のCH1eruの学習記録上では、少しの空き時間でも学習を継続しており、ネット環境（但し、スマホには未対応）があるところでは勤勉に取り組んでいる記録が残っている。学年平均の学習マイルであり、おそらく1年次の終わりには、14000マイル程度であったことが推定される。この数字は2015年度入学者の記録を大幅に超えるものであり、学習量は担保されていると言える。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP上からは、一年次にこのようなマルチメディア教室を使い、英語とネットを使い、効率的な学びが可能な授業を受けておくことは必要である。到達度自己評価の（3）事象を理解する視点や考え方を得ることができたが、少しそうではないと思うが、5名であり、10の項目の中で最も大きな否定的回答であった。これはこの講義が担当者の一方向的講義ではなく、学習者からの読みが必要な形式であることから来していると推定する。その読みの対象の教材の英語が最も基本的レベルでも受講者からすると基本には見えない。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	入学者の学力の幅が、下に大きく振っている傾向がある。また、高校での必修科目「情報」の知識を前提で授業を進めているが、その「情報」での学習内容とその定着の度合いが高校により大きく異なる。例えば、ほとんどキーボードを見ずにタイピングができる学生から、二本指でゆっくり入力する学生まで多様である。かつてのカリキュラムでは、専門科目に「コンピュータ文書Ⅰ、Ⅱ」のように情報科目があったが、現在は総合人間科学に選択科目としての配置だけである。それらは選択科目であり、それらの情報科目を全く履修せずに、この英語の科目（必修科目）を履修する学生には、タイピングからがチャレンジな学習項目となる。それに対して、「難しい」「できない」とかまえさせるのではなく、ネット上の無料のサイトを利用して、楽しみながらタイピングスキルを身につける方法をさせることもしている。
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	シラバスに学習マイルを2500以上と記載していたが、6月半ばにそれをかなり多くの学生がクリアしていた。とにかく誰もが練習できる、誰もがいつでも参加できるのが、このようなソフトウェア利用のE-learningの強みである。しかしながら、毎年、学年に1人ははまってしまう学生が出てくる。それらの学生には逆にほどほどに学習をするように、時には休憩を入れようねと助言をする。このようにいつでもどこでも1人で学習可能である特質が、そのような学生を把握するのに役立つ術にもなっている。予算措置が必要であるが、タイピングのソフトがあれば更に効率的に学習できるだろう。2017年度からはスマホ対応へとバージョンアップするので、さらに利用しやすくなる。
-------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	薬師寺 元子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
Grammar & Composition II	1	後期	必修	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考に記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	授業の実施にあたり大切にしていることは、積極的、且つ、能動的な学習態度を軸と致しました。①まず出席とレポートの提出が肝要であると強調致しました。②次に予習、復習を必須とし、特に予習に重点を置くように勧めました。③さらに、予習復習を徹底するためにノートを作り方を推奨いたしました。『授業以外に具体的に取り組んだ学習』の自由記述に、「ノートにまとめた」、「TOEICの練習をした」、「苦手の文法を中心に復習をした」、「単語を覚えた」とありました。相当難易度の高いテキストを使用致しましたので、実際は、大変時間が掛かる予習だったと推測致しますが、皆一生懸命準備を致しました。『授業の課題以外に学習に取り組んでない理由』に、「教科書が難しかったのでその時間がなかったから」、「課題だけで手一杯だった」、「他の授業があるから」とありました。語学の学習は、繰り返しと忍耐力も必須ですので、結構、沢山課題を出しました。『受講動機』は、必修科目ですので、全員真剣に取り組んだと判断いたします。学生の『自由記述意見』としまして、「少しテキストが難しかった」、「教科書が難しかったが、これが大学生らしい授業だと思う」、「とても、説明が解り易かったので、英語に対する意識が変わりました。これからも頑張ります」等が挙げられておりました。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	①全員が、標準的レベル以上に達し、最終的な成績の平均値は100点満点中の84点であり、再試対象者は0名でした。80点以上で、理想的なレベルに達したのは、13人中中11名でした。②「TOEIC」に出る順英単語」に関しまして、小テストを11回実施致しました。準備が十分な学生と不十分な学生の個人差がかなりありました。英語のスペリングと和訳です。、難易度は、標準的なものを作成いたしました。テキストの『Improving Your Writing (表現力をつける英作文)』をもう少し時間をかけて重層的に幅広く説明できれば、もっと、理解が深まるのではないかと判断致しますが、時間が限られておりますので、最終章までできなかったのが悔いる点でございます。『学生の到達度自己評価』につきまして肯定的な解答は、(1)自分なりの目標を達成した81.8%。(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることが出来た(100%)。(3)事象(自然、人、社会、歴史など)を理解する視点や考え方を得ることが出来た(81.8%)。(4)自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることが出来た(約94.1%)。(5)自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることが出来た(90.1%)であった。以上のように学生の学習に対する到達度自己評価は、かなり高い。(10)職業選択の参考になった、という点でも、肯定的な解答が63.6%という結果となっております。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	カリキュラムマップ上の本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価に関しまして、①CP、本科目は人文学部観光学科の必修科目であります。昨今、グローバル化が進み、英語の発話力が問われてきました。しかしコンピューター時代に突入したため、それ以上に、正確な英語の読解力が求められます。精読により、語彙力、文法力を徹底的に修得することが肝要でありますので、中心的必須科目の位置にあるといえます。学生の本科目に対する到達度自己評価に、「知識を確認、修正したり、新たに得ることが出来た」、「事象(自然、人、社会、歴史など)を理解する視点や考え方を得ることが出来た」、「自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることが出来た」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることが出来た」等に関するものが、8割以上を占めていますので、本科目の内容的妥当性を確信致します。②DP、行動目標から見ての内容的妥当性に関しまして、学生が達せきすべき行動目標は、1.『TOEICテストに出る順英単語』の3500～4500レベル(186～326)の単語を修得する。2. 高校までに学んだ英文法を確実なものにする。3. 短文での英作文が出来るようになる。以上3つも事項が挙げられています。「『TOEICテストに出る順英単語』の3500～4500レベル(186～326)の単語を修得する」につきましては、教科書により、11回の小テストを実施致しました。これにより、語彙力、文法力を強化できたと考えます。次に「高校までに学んだ英文法を確実なものにする」に於きましては、決められた範囲を確実に理解し、音読し、文法事項の基本を丁寧に説明を致しました。最後に「短文での英作文が出来るようになる」ですが、全員優秀な素質を持った学生でしたので、完璧に近い状態で、実践できたのではないかと確信いたします。③まとめ、以上から、内容妥当性には全く問題はないと判断致します。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価につきまして、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」では、「まあまあ思う」と「わりに思う」と「かなり思う」を合わせると、１００％であった。「期間内に行うべき課題は明らかであった」では、１００％であった。「説明は理解しやすいものであった」では、９７．１％であった。「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」では、９４．２％であった。「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、其れに答える機会がつけられていた」では、９４．２％であった。以上総合いたしますと、ほとんどが、進め方につきまして、好意的でございましたが、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」に関しましては、「少しそうでないと思う」が２名いましたので、全員が満足するような解答になりますように、「アンケート用紙」を活用し、次回も工夫を凝らす所存でございます。
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	本科目に対する学生からの「担当教員への意見」と致しまして、学生のコメントは、「説明が解り易く授業もとても楽しかった」、「内容的に難しかったが、一つづつ丁寧に教えて頂いたので解り易かった」、「とても楽しく面白い授業でした」。以上のような学生からのコメントは、今後の自身の、授業に対する励みになっております。 本科目は、英文法、英作文の教科でございますが、「比較文化」、「留学」、「アルバイト」、「若者と政治」等、学生の興味に添ったテーマの中で、長文も取り入れた教科書を選択したので、教える方も、学ぶ方も楽しく授業が出来たと存じます。しかし、その分、毎回の授業の準備に、資料集めや、プリントの準備、教科書の予習、復習など大変多忙な教科でございました。このクラスは、非常に真面目で、理解力もありましたので、大変授業がスムーズにいきました。従いまして、一応標準レベルである１．『TOEICテストに出る順英単語』の３５００～４５００レベル（１８６～３２６）の単語を修得する。２．高校までに学んだ英文法を確実なものにする。３．短文での英作文が出来るようにする。は、ほぼ、達成できたのではないかと確信いたします。今後は「アンケート」で学生の意見を取り入れたり、「学生一人一人と直接コミュニケーション」をしっかりと図りながら、勉強に対するモチベーションを上げる、手助けをしていきたいと存じます。
-------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	石田 もとな

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Grammar & Composition II	1	後期	必修	はい	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	授業準備性向上のため、前期に引き続き、毎回の授業で単語テストを実施した。テスト準備のため授業開始時には、単語帳を見るということが定着しており、準備性の向上には役立ったと考えられる。毎回授業で、発表や発言の機会があるため自主的にテキストの予習を勧める学生もいた。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された					やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最初のうちは、主語のない英文が出てくることもあったが、最終的には全部の学生が単位を取得した。理解度にあったものを繰り返し学習すること、基礎的、かつ良質な英文を暗記し、単語を入れ替える方法で英文を作る力が向上したと考えられる。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DPとしては、「技能表現」に分類される。科目名の中のGrammarは文法、Compositionは作文である。文法的説明をし、穴埋め問題、英作文に進んでいくというスタイルであった。内容は妥当なものであったと考えている。毎回の授業で、必ず指名し、学生が発言、発表ができる参加型授業を目指した。英作文は黒板に書かせて、答え合わせをすることにより、共通の間違いが起こりやすい箇所等について共通認識を持つことができた。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

アンケートの自由記述には、授業の進み方がちょうどよかったというコメントがあった。単語に関する学習時間と、テキストの英作文の時間を1：2の比率にし、飽きないように配慮した。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

基本的な短い英文を作ることは達成された。課題としては大学生にふさわしいより高レベルの英作文ができるよう、単語のバリエーションを増やすこと、その時のみではなく繰り返し使い、難しい単語を自分のものにしていくことであると考えられる。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	村田 希巳子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
Grammar & Composition II	1	後期	必修	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	文法と英作文の授業なので、しっかり基礎文法を説明し、英作文のアップも狙った。教科書は、新出単語のテストを行い、単語力アップも狙った。さらに予習をしっかりと調べたので、学修準備の量が多く、「忙しかった」「課題が多かった」の意見があり、「予習した」「小テストの勉強」の取組みがみられた。「単語のテストで手いっぱいだった」という学生もいたが、負荷がかかった授業だったようである。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された					やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	このクラスは、、、努力もするし、文法や会話を暗記させると、覚えも早かった。できない学生の面倒を見て、皆で向上しようという、意図が見られた、素晴らしいクラスである。宿題や予習を調べたので、全員がかなり努力し、こちらの期待に応えてくれた。「授業で十分に理解できたので、他の学習はしなかった」という感想もうなづける。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	皆やる気があって、動機が高かった。
---	--------------------------

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

予習や、単語のテスト勉強もよくやってくれた。単語テストの平均点は、25点満点中、平均が18点で、皆さん頑張っていた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

良く伸びる学生なので、このまま負荷をかけて、英語を伸ばしたいと思った。運動クラブが忙しくて、学習時間が少ない学生も、他の人に引っ張られて、よく頑張ってくれた、と思う。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	浅田 壽男

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
Grammar & Composition II	1	後期	必修	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①受講者12名という語学学習には理想的な少人数クラスであり、円滑に授業を進めていく上でも、学生と教員の信頼関係やコミュニケーションが、特に重要だと考えて、どのような質問にも即、対応できるように、徹底的に教材の下調べを行った。②第1回目の授業で、テキスト未入手の学生もいるので、授業の説明に加え、英語で自己紹介を書いてもらい、添削をしたものを基に、英文の共通した誤りや表現の改善点について一覧表にまとめて配布し、テキストを離れて英語力の養成を狙った。③全員に予習復習を励行してもらうために、宿題として持ち帰る形のミニ・テストを6回実施し、中規模の中間テストを1回実施した。一人一人に得点表を作成し配布して記入してもらい、自分の英語力とその向上を常に意識してもらうように努めた。④主として英語が不得手な学生を対象に、英文法に関わる自由研究課題（comeとgoの使い分けの基準を調べる）を与え、図書館にある拙著『英語学講義』の1項目を、先ず参照してもらい、これを出発点として、図書館の文献書誌を利用してレポートを提出するという、任意の自由研究課題を与えたところ、1名がレポートを提出した。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	学期末試験の達成目標として、素点の平均が75点となるような問題を出題し、結果的に上下の得点差がかなり大きくあったものの、素点の平均が73点であったこと。また中間テストの100点満点に換算しての平均が81.4点であったこと。また宿題という形で、全員に課したミニテスト6回の100点満点に換算しての平均が70点を少し超えていたこと。これらを総合して、特に1回目の授業中に書いてもらった自己紹介の英文から見ても、大半の受講生が明らかに進歩したことなどから、総合的に見て、「やや達成された」と評価をします。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラムMAPにおいて、本必修科目は、英語力の涵養という根本目標から見ても、内容的妥当性を十分に備えた科目であると判断します。具体的には、本科目のDPの位置付けが「技能表現」にあるので、英語力の養成と強化を目指す本科目は、十分に適合していると考えます。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	学生による授業評価において、「説明をもっと簡潔に分かりやすく」という意見は、その通りであり、今後、大いに参考にしたいと思います。ただし、クラスには英語の基礎力が十分でない学生もいるので、その辺をバランス良く考慮したいと考えます。さらに「むだな話が多い、授業外の自慢はやめてほしい」という意見については、必修科目であるので止む無く受講していると思われる学生もいるようなので、英語そのものに、また英語圏の諸外国の話を聞かせることによって、積極的に興味をもって受講してもらいたいと願って、留学の体験談など話しましたが、無駄話と受け止める受講生がいたことには、これからは十分、気を付けて、誤解を招かないように心掛けたいと思います。図書館に蔵書のある拙著を紹介したり、ネットから拙論を入手する方法などを紹介するのは、ぜひ参考にしてほしいと願ってのことですが、このような意見が出たことは、今後、配慮し、慎重に授業を進めたいと思います。授業アンケートの「図書館利用」の項目を見ていて気づきましたが、「利用しなかった」が8名で、無回答が1名という結果が出ていますが、少なくとも1名は図書館の蔵書文献を利用して特別課題レポート（任意）を提出しているので、このような実態が正確にアンケートに表れていないようにも思えます。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	前述の通り、直接の具体的達成目標は、受講生全員の平均素点が75点となることを目標としていたところ、結果的に上下間の点数にかなりの開き（一方で100点に近い得点者がいるが、その一方で50点を割る学生もいた）見られたものの、素点の平均が73点であったこと。また中間テストの100点満点に換算しての平均が81.4点であったこと。また宿題の形で、実施した6回のミニテストの平均が70点を若干、超えていたこと。これらを総合して、当初の目標は「かなり達成された」と考えます。ただ、自発的に、常に予習復習をして授業に臨む受講生が多くはいなかったもので、受講生全員が足並みそろえて、当初の授業目標を十分に達成するためには、今後も小テストをかなりの頻度で実施したり、常時、宿題を課すなどの、予習復習を励行するような手段を講じなければならないと考えます。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
映画で学ぶ世界遺産	1	後期	選択	いいえ	51

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	地図帳、映画、写真を絡めながら、世界遺産について解説を行うことで、学生の頭の中に具体的なイメージがわくようにした。とりあげる世界遺産の数を絞り、深く掘り下げるようにした。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	70%の受講生が、「優」以上の成績であった。授業で刺激を受けて、世界遺産検定を受けた学生もいた。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	学科で取り組んでいる国家資格取得のために、役に立つ科目であり、位置づけは妥当であると思われる。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

映画の内容について授業中の説明が不十分であったようである。見終わった後に説明するだけでなく、見る前、見ている途中にも説明を加えることで、授業中に見る映画の価値についても理解が進むと思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

毎年、学生の意見を参考に授業方法の改善を行ってきたが、今回は、映画の選択についての改善が必要なことが判明した。学生の「好み」にあわせることがないが、この科目の教材として豊富な情報が得られる映画を厳選したいと思う。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
初級中国語会話	1	後期	選択	いいえ	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	①一年生を対象とする授業で、全員が中国語初めての学習なので、中国語の特徴と学習方法を説明する。中心に中国語の発音、基本文法の学習、会話の練習を通して、中国語の言葉話し方、習慣の表現などの特徴を理解し、基本応用能力を身に付けます。更に中国語に対する理解を深めるために、中国の歴史、文化、中国事情を適宜に紹介する。 ②学生の学習への意識を高め、学習状況を確認するため、ユニットごとに確認テストを行う。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は89点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル(概ね90点以上として試験を作成)に達したものは27名となった。 学生による授業評価においては、「知識を確認、修正したい、新た得るところができた観点での自己評価にかなりそうだと思う」と「新しい知識を身に付けたと考えられる」。「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意識をもつことができた」。「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」においてはそれぞれ30名と高かった技能表現に達している。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性。 本科目は「専門教育科目」であるが、「専門基礎科目」と「専門基幹科目」をつなぐ要の位置にある。内容的には妥当であると考ええる。 ②DP、行動目標からみでの内容的妥当性。 異文化、多言語の領域の成績は上昇したことからも内容的には妥当であったと考ええる。 ③まとめ 以上からの内容的妥当性には問題はないと思われる。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、 「テスト、レポート、提出物など評価基準は明らかであった」 「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」 「説明は理解しやすいものであった」 「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生参加する機会が作られていた」 「口頭。文書などで学生の質問を受け付け、答える機会が作られていた」については高く示されていた。
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	専門応用科目の入り口にあたる本科目の位置づけから、基礎的知識の形式については概ね達成できたが、コミュニケーション能力の面で課題を残した。この点は「専門基幹科目」で結びつき、引き続いて指導する予定である。 学生に中国語で日記を書いてもらっているが、来年度により綿密に実施することを行いたい。
------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	家根橋 伸子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
日本の歴史と文化地理Ⅰ	1	後期	選択	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①日本の歴史・文化地理について概論的知識伝授的授業ではなく、学生自らがテーマを設定し、自ら調べ、それを他者に向けて発信する能力の育成に重点を置いている。 ②1年生ではまだ資料の適切性の判断が難しい。信頼できる情報源の指示、引用の仕方、資料をどう判断するかといった情報リテラシーの基本事項にも留意し指導した。 ③学生の中には明確な動機を持たない者が多く見られたが、能動的授業とすることで参加意識を高めた。 ④昨年度同様、プレゼンテーションに対するリフレクションシートをシェアすることでクラス内の協働意識を高めた。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	①成績はS 1割、A 4割、B 3割、C 1割程度であった。 ②授業評価アンケートでの到達度の自己評価においても多くが全項目ポジティブ評価にチェックしており、教育目標はほぼ達成できたと思われる。ただし、1、2名の者がネガティブ評価であり、課題は残る。 ③②のような状況とはいえ、1、2名の者がネガティブ評価であり、課題は残る。また、講師の目から見れば、もう一歩高いレベルへと向かってほしいと希望していたため「やや到達」とした。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①知識理解科目として位置付けられているが、私自身は「知識理解」を学生の能動的行為であり、自ら調べ・言葉として表現することで達成される能力として捉えている。 ②その意味で内容的に妥当であると考えている。学生の到達度自己評価の多くが肯定的だったことはこの授業形態が知識理解に役立ったことの反映であり、妥当であったと考えている。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	学生の評価から、授業によって日本文化・地理・歴史の知識理解が促進されたことがうかがえたが、学生の自律的取り組みに負うところが大きい授業形態であり、また一人ひとりの学生の真摯な取り組みが他の学生の取り組みの向上へとつながるグループ・ダイナミクスに授業の成否がかかっている性質上、特にコース初期においてより高いレベルの発表内容とするために学習のための情報利用についてよりきめ細やかな指導が必要であると考えられる。自身で主体的に情報集することが必要な課題を課していたにもかかわらず図書館使用に関する評価がさほど高くなかったことは今後の課題である。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	ほぼ授業の目標は達成できたと考えているが、上記のように学生の自律的取り組みに負うところが大きい授業形態であり、また一人ひとりの学生の真摯な取り組みが他の学生の取り組みの向上へとつながるグループ・ダイナミクスに授業の成否がかかっている性質上、より高いレベルの発表・考察を行わせるような促しをどう行うかが課題である。また、今回は受講者数が18名で、この人数規模であればグループ活動なども設定できたと考えている。ただし、開講前に人数が予測できないので、授業計画上悩ましいところである。
------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	木沢 誠名

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
観光産業論	2	後期	選択	いいえ	74

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	観光は、近年の我が国の成長戦略上で重要な分野であるため、産業論の前にまず観光政策論から講義した。政策を実現するのが事業であり、事業は産業を通じて目的を達成する。そういう順序で講義を展開した。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された			達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	毎回の授業のコメントカードでわかる。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	前々項のとおり、近年の我が国の重要な成長分野であり、観光を学ぶ学生としてははずせない科目である。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

特になし。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	梅田 勝利

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
簿記入門	2	後期	選択	いいえ	50

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	インタラクティブな授業の実施および知識・技術の習得の2点に力点を置いた。 ①受講動機では約半数が「関心のある内容である」であった。 ②学習量の評価では1回30分程度以上の予復習を3分の2程度の学生が行っていた。 以上から、自身の知識・技術の習得に向けて積極的であったと考えられる。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	①到達度自己評価では約90%の学生が到達したとの回答であった。 ②学習量の評価では1回30分程度以上の予復習を3分の2程度の学生が行っていた。 以上から、概ね知識・技術の習得ができたと考えている。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①受講動機では約半数が「関心のある内容である」であった。 ②到達度自己評価では約90%の学生が到達したとの回答であった。 ③学習量の評価では1回30分程度以上の予復習を3分の2程度の学生が行っていた。 以上から、内容的に妥当だと考えている。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

- ①到達度自己評価では約90%の学生が到達したとの回答であったので、さらなる向上を目指したいと考えている。
- ②授業の質の評価ではインタラクティブな授業の実施に関してもひとつであったので、さらなる向上を目指したいと考えている。
- ③学習量の評価では1回30分程度以上の予復習を3分の2程度の学生が行っていたので、さらなる向上を目指したいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

- ①到達度自己評価では約90%の学生が到達したとの回答であった。
 - ②学習量の評価では1回30分程度以上の予復習を3分の2程度の学生が行っていた。
- 以上から、概ね知識・技術の習得はできたと考えているが、インタラクティブな授業の実施について改善していきたいと考えている。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	友原 嘉彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
観光フィールドワーク	1・2・3・4	後期	選択	いいえ	24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目では観光地のフィールドワークにかかり、①フィールドワークの概要、②フィールドワークの準備、③フィールドワークの実施、④フィールドワークの成果の発表、という大きく4つに区分し、行なった。なお、②～④は2-3人からなる小グループを作ってもらった。気の合う者同士のグループで取り組めることから、学生達には興味を持って受講してもらうことができた。成績については科目の性格上、期末試験を実施することはせず、フィールドワークへの取り組みや課題レポートなどから採点を行なった。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	履修者数24名という、相対的にそれほど多くはない規模の講義でもあり、参加する姿勢としては概ね良好であった。但し、単位修得者にしても、上位と下位ではかなりの差が出た。まして単位未修得の者は特にそうである。これは小グループでの実施のため、責任がグループに分散するような形と各学生に受け止められ、自己(のみの)責任に比べて甘くなってしまったのではないかと推察される。単位修得率は88%(24名中21名が修得)で、単位修得者のうち、「秀」は2名で10%、「優」は3名で14%であった。なお、単位未修得者3名は全員がフィールドワークへの怠慢や課題レポートにおける内容の不充分さであった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	上記3でも触れたように、来るべき各自の卒業論文の執筆などに向けて、フィールドワークの全般に渡って基本的な内容を吸収してもらった。また、成果の発表についても授業内だけでなく、最優秀の1グループの学生達(2名)においては他大学での学生合同発表会に参加してもらい、そこでの発表もしてもらった。来年度以降も当該年度に培った経験を活かし、さらなる努力をしたい。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	すでに上記3でも触れているように、担当者としては様々な工夫を凝らし、学生の知識、経験の定着に努力した。そういった中であっても、どうしてもやる気の出ない、倦怠感が見られるような受講生もごく少数ではあるが存在し、出席はしているものの、課題については十分にやる気にならず、単位を認定することができないということにも繋がった。可能な限り、声掛けをするなどして、極力目が行き届くように心がけたい。
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	全体としては充実した講義になったのではないかと認識している。受講者24名の中にはしっかりとノートをとるなどして、好成績を取めた者も多い。一方、明らかにやる気の見られないような者も少数ではあるが存在した。また、成果の発表に際しての質疑応答については全般的に積極性が見られなかった。来年度はこういった点を改善できるよう、日々工夫をしていきたい。
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	浅田 壽男

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
TOEIC演習D	1・2・3	後期	選択	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	①本クラスには、「TOEIC演習D」の受講生7名に、旧科目「TOEIC演習Ⅱ」の再履修生3名が加わったが、それでも全受講生10名という、語学授業には極めて理想的で、個人指導に近い人数のため、一層、受講生との信頼関係やコミュニケーションが不可欠だと考えて、時間を十分かけて教材の下調べを行うとともに、授業前の英語力を確認するための「Pre-Test」と授業の最終段階でどれほど英語力が伸びたかを確認するための「Post-Test」を、学期末試験とは別途に、作成して授業の開始に臨んだ。②英語の基礎力に、かなりのばらつきがあり、そのためにReading Partでは予想以上に時間がかかり、かつ最終的に和訳を何度も尋ねる受講生が多かったので、授業の後半では、大変な分量になったが、全パラグラフの和訳のプリントを、各章が終わるたびに、配布して、和訳の不安な受講生の学習に供した。③再履修生には欠席が続いたり、予習しないままに授業に臨むことが多かったのので、宿題として予習すべき箇所を指定して、少しでも授業中での進捗を進める工夫を行った。④受講生各自が自らの達成度を確認し、常に努力目標にしようという意図で、各章の問題の得点を記録する用紙を作り、記入してもらい、定期的に回収して確認した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された					やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	平均点が75～80点になるような問題を作成して、学期末試験に用いたが、受講生全員の平均点が80.7点、4年生（再履修生）を除いた3年生7名の平均点が83点であったこと。TOEICテストと同形式で作成した「Pre Test」と「Post Test」の平均点の間で、4点ほどであるが、有意意味な得点の上昇が見られたこと。宿題化した予習を、ほぼ行ってもらえたこと。このような結果を踏まえて、「やや達成された」と評価しました。					
* 根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	TOEICテストに備えた選択科目として、本科目は英語力の強化を主目的としている。DP、CP、カリキュラムMAPにおいて、内容的妥当性を十分に備えた科目であると考えます。DPの位置づけが「技能表現」であることでも、本科目の内容は適合していると判断しております。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	主として再履修生が欠席がちで、足並みそろえた授業が困難であったことも事実ではあるが、欠席が4回、中には5回となった時点からは、出席が続くようになって、授業が順調に進むことになった。学生による授業アンケートの中に「教科書を買ったのに進みがあまりよくなかった」という意見は、その通りで担当者として今後、十分に留意したいと思います。ただ、一方で予習を励行してもらえたら、もっと先へ進めることが出来たとも言える面もあるので、担当者としては、今後いっそう予習や復習を徹底してもらえるような方法や手段を講じたいと考えています。
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	結果として、受講生の得点といった面では、前述のように「やや達成された」と考えますが、受講生に予習復習を励行してもらえるような手段・方法を講じる余地は大いにあると思いますので、今後はどのような形で予習復習を徹底させるか、また小テストを定期的に繰り返すことで、常に自分自身の英語力の向上を意識してもらえるのではないかと、いっそう工夫したいと考えます。
------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	家根橋 伸子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
日本の歴史と文化地理Ⅱ	2	後期	選択	いいえ	47

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	①日本の歴史・文化地理について概論的知識伝授的授業ではなく、学生自らがテーマを設定し、自ら調べ、自分の視点から考察し、それを他者に向けて発信する能力の育成に重点を置いている。能動的授業とすることで学習者の自律性を重視した。 ②「日本の歴史と文化地理Ⅰ」では対象学年の1年生ではまだ資料の適切性の判断が難しいと考え信頼できる情報源の指示、引用の仕方、資料をどう判断するかといった情報リテラシーの基本事項にも留意し指導したが、本講義「日本の歴史と文化地理Ⅱ」は2年生以上が対象であり、初回で確認するにとどめた。 ③昨年度同様、プレゼンテーションに対するリフレクションシートをシェアすることでクラス内の協働意識を高めた。 ④2～4年生が混在していたため、プレゼン及び振り返りがスムーズにいくよう指導を心掛けた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	①授業評価ではいずれの項目においても「まあまあ思う」が多い。また、数名、各項目でネガティブ評価が見られる。何らかの不満を抱いていた学生がいたということで、それを授業内でケアできなかったことは今後の課題である。このため「やや達成された」とした。 ②多くの学生が自分自身のテーマを設定し、複数の資料を比較し、それをもとに自身の意見を述べられていたが、それがネット上の既存の情報の切り貼りで、思考が不十分である者も見られた。また、期末レポートでもコピペとは言わないまでもインターネット上の情報の寄せ集めに過ぎないものもあり、それらの学生はC評価とした。この結果、S評価10%、A評価40%、B評価30%、C評価10%となった。出席は単位の出せる範囲内であったがレポートの提出のなかった3名を再試験としたが、提出は1名のみでこの者をC評価、残りの2名は不合格となった。 ③自ら調べ、比較し、考察するという授業の特質上、授業外での学習が必須であるはずだが、回答では量が例年に比べ少なく問題である。また、情報利用という点でも特に図書館利用には結び付いていない。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①本授業は「思考判断」の科目としても位置付けられており、調査・比較・考察・提示・再考察(レポート)という過程自体が授業形態自体がそれに沿ったものとなっている。 ②授業評価では、「まあまあ思う」という消極的肯定の評価が多く、数名ネガティブ評価の学生が見られるが、「割と思う」「かなり思う」が8割以上に上る項目も多い。到達度自己評価においてもポジティブな評価が多く、このことから妥当であったと考える。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	①同様の形態の授業を毎年行っているが、毎年学生が多様であり、その年のクラスに合わせてどう授業を運営していくか悩まされる。範疇としてはアクティブラーニングにはいる学生の主体性・自律性を軸とする授業法のため、学生自身がそういう授業形態に慣れていなかったり、なじめなかったり、自律的に学習しようとする意欲のない場合、それをどう促し、能力の育成へつなげていくのが例年のことながら難しい。今後も検討していきたい。 ②数名のネガティブな評価の学生（到達度についても授業の質評価についても）の意見をどうすくい上げていくかも検討課題である。 ③自ら調べ考察することが主軸の授業であるにもかかわらず、図書館の利用は低い。授業において利用を促すなどが考えられるが、今後の課題である。
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	①総体的に授業評価アンケートの結果は悪いとは言えず、到達度自己評価、授業の質評価共に「そう思う」が多い。ただ、その中でも「まあまあそう思う」が多く、より満足度の高い授業を目指したい。数名のネガティブ評価の学生にも目を配っていきたい。 ②アクティブラーニングを取り入れた本授業形式を取るには本来適正人数というものがあるが、どうしてもそれ以上受け入れることになる。その状況で、授業の質と効果をどう保持していくか、今後の課題として検討を進めたい。
------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	川上 耕平

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
国際関係入門	2	後期	選択	いいえ	64

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	①この講義は2年生以上が対象であるが、履修者の受講動機の、71%は「関心がある内容ため」、39%は「単位数を確保するため」となっている。そうした点（教養の修得を期待している）も鑑みて、日中戦争・日米戦争・ベトナム戦争・日米安保など、国際政治の教養的知識を中心に説明を行った。初回の講義で調査したところ、社会科学系の授業（日本史、世界史、政経など）を履修したことのある学生が少なかったため、「入門」の名のとおり、高校の学習内容からの橋渡しになるようにも心がけた。 ②「学修準備性」という点に関しては、教科書を指定していないため、予習をすることが難しい科目であったかもしれないが、事前にレジュメを配った場合には、それを前もって読んできてもらうようにし、宿題も設定してこの講義に予習が必要であることを示した。しかし担当講師は、予習よりも復習に重点を置くことが肝要であるという方針を講義の冒頭で強調した。これは昨年と同様の方針である。 ③昨年度の「国際関係入門」は、教科書を指定し正統的な内容を論じたため、とっつきにくい印象を受講者に与えた可能性があった。そこで映画のワンシーンや音楽を利用するなど、ポピュラーカルチャーを利用した内容にして、受講者の関心を喚起した。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	成績評価は、宿題と学期末の試験の2つが柱となっている。宿題は国際政治と関係のある英語の歌の歌詞を訳すものであって、ほとんどの受講者が提出し満点であった。期末試験もおおよそ7割が80点以上であり、極端に点数の低い学生はほぼいなかった。 「到達度自己評価」の数値で見ると、「自分なりの目標を達成した」という項目は、「まあまあそうだと思う」以上の合計が94.4%であり、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」と「事象（自然、人、社会、歴史など）を理解する視点や考え方を得ることができた」については、やはり「まあまあそうだと思う」以上の合計がそれぞれ、98.1%と100%であった。こうした数値から見て、担当講師は教育目標をほぼ達成したと考えている。 ただ、各回の講義でかなり豊富な文献紹介をしたにもかかわらず、「図書館利用」は0.18%だけであった点では、「意欲関心（DP3）」は「達成された」とは言いがたいかもしれない。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性 観光を学ぶ学生にとって国際政治の知識は不可欠のものであるが、本講義ではそれだけでなく、外国語の読解にとっても必要な知識を提供している。なぜなら、外国語は文法や単語を詰め込んだだけでは解釈することはできず、多岐にわたる背景文化についてそれなりに知識をもっていないと、適切な日本語に置き換えることはできないからだ。「到達度自己評価」の欄は、総じて「まあまあそうだと思う」以上が多く、それは講師の意図を汲んだ結果の回答だと考えている。 ②DP、行動目標からみても内容妥当性 成績を見る限りでは、DP1-1つまり知識理解は、それなりに達成されていると考えられる。 以上から、内容的妥当性については、問題ないと考えている。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	「授業の質評価」の欄の「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」という項目は、「まあまあそうだと思う」以上が85.1%いた。講師は学生との質疑応答を重視したため、想定以上に高い数値となったと思われる。 なお、受講者の自由記述の意見で、「『国際関係』という内容ではなかったという気がする」というコメントがあったが、それは、講義において映像や音楽を多用したため、体系性を犠牲にせざるえなかったからかもしれない。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	受講者参加型というかたちの講義は、専任教員の少人数による演習にゆだねられるべきであり、一斉授業型の本講義は、国際政治を理解する上での基礎知識を提供する役割に徹しており、全体的に目的も達成されたと考えている。 また、実際に講義を行ってみると、社会科学系の科目を履修したことがない学生も多く、入念な導入的説明が必要となった。それはときに中学校の知識の確認にまでさかのぼることもあったため、シラバスどおりのスケジュールを消化できない場合もあったが、学生がわからないまま一方的に進めることは、その後の講義の進捗にも大きく影響するため、受講者のレベルにあわせることに意を尽くした。 総括的には、概ね学生の期待に応える講義を行うことができたと考えている。ただ、講義以外での家庭学習（紹介した文献を読むなど）に時間を割く必要性を理解してもらうことが課題になると思われる。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	James Hicks

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
英文講読Ⅱ	2	後期	選択	いいえ	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	For this course the students were assigned the following textbook: Essential Reading 1. Students engaged in close readings of the required text combined with multimedia presentations to expand and enhance understanding of the content.
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された					やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	Students were assessed on 4 criteria (passive participation 15%, active participation 44%, homework 20%, and a final test 20%). Students grades varied widely from the 90s to the 60s.					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	Students were generally enthusiastic, positive, and willing to learn. Opportunities to build reading skills (DP5) were provided throughout the course with most students taking advantage of the opportunity.
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

I will not be teaching this course next year.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

I am sure that opportunities for developing both strong reading skills and critical thinking skills will be provided in a dynamic and flexible classroom environment.

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	木沢 誠名

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
旅行産業論	2・3・4	後期	選択	いいえ	53

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	「観光産業論」とリンクして履修することを勧めている。観光産業から旅行産業を抽出した内容となっている。我が国において、旅行産業は「旅行業法」の規定で、旅行商品を造成できる唯一の産業となっている。その他の観光産業は、需要を創出する手段を持たない。そのため、旅行産業は観光産業の中心的地位にすることができる。旅行産業の仕組み、現代的課題を説き、地域活性化のためには観光が大きな力を発揮できることを示し、旅行産業の社会的使命を講義した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	毎回の授業コメントカードから判断した。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	前前項の通り。
---	----------------

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

特にない。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

特にない。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ビジネス英語入門	2・3・4	後期	選択	いいえ	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	①履修者30名中、2名だけが3年生で、残りは2年生である。カリキュラム上ビジネス関係の英語は全く初めて学ぶ人たちが中心であることを念頭におき、ビジネス英語の基本の基本をゆっくりすることになっていた。前期の同名科目で、英語学科4年生の授業があったが、そこでは留学体験がある学生が多くを占めていた。彼女たちでも理解が苦しい箇所は、後期のこの科目では、入念に説明した。2016年度に初めて担当した科目であり、2015年度における授業の改善計画はなかった。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	①最終的な成績は、A18.2%、B24.2%、C27.3%であり、ここまでで69.7%を占めている。この層は、標準的なレベル以上に至ったが、E以下も2名いた。②知識理解については、試験や小テストで記述式の問題を出しており、知識についてかなり習得できていた。しかしながら、応用記述的な出題になると、正答率が落ちることから、理解については基礎的な理解にとどまっていた。人文学部合同の授業であり、英語学科、観光文化学科の両方が受講していた。試験で英語の部分については、英語学科の学生の方が正答率が高く出た。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①主に2年生を中心に受講していることから、この時期に入門的な知識を習得することは、意義あることだと推定する。学科の科目にこの科目を発展的に継承する科目はない。従って、名称は「入門」であるが、幅の広いビジネス英語の入門的な内容の科目を置く妥当性はあると思われる。②学習量の評価では、授業に参加するために、一回30分以上の準備をどれくらい行いましたかの項目では、③2.3回以上が25名である。30分以上の復讐については、③2.3回以上が7名となり、④4、5回になるとさらに減り、5名となる。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

①自由記述では、「プリントを配られすぎて大変だった。要点をつかんで教えてほしいと思った」これに対しては、配布物を減らす必要があるのかを検討する必要がある。平均すると、一回の授業でB4二枚である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

①人文学部の両学科の2年生以上の選択科目であり、大教室での60名を超えていたクラスサイズである。静穏を保ちながら、話を聞かせるスキルを磨く必要がある。ビジネス英語入門という名称の授業であり、英語力については、英語学科の学生の方が上になる。その差異が授業では出ないように、ビジネス的な側面にも触れることを検討してみる必要がある。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	友原 嘉彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
欧米観光文化地理Ⅱ	2・3・4	後期	選択	いいえ	55

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目では欧米の中において特に東欧の観光文化地理について授業を行なった。東欧（あるいはさらにその各国、各都市の）観光文化、社会、地理などの形成と特徴について詳細に論じた。東欧は学生達にとってあまり馴染みのある欧米であるとは言えないが、人気が出だしているブラハやブダペスト、クロアチアのアドリア海沿岸都市などを含んでおり、興味を持って受講してもらうことができた。成績についても単に期末試験のみによるものせず、1ヵ月に1度、A4用紙2、3枚程度のレポートを課し、これらから総合的に採点した。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された		達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	履修者数55名という、相対的にそれほど少なくはない規模の講義ではあったが、参加する姿勢としては概ね良好であった。授業も内容として受講者達があまり馴染みのない地域を取り上げたため、基礎的知識の定着に注力するなど工夫を行なった。その結果、単位修得率は87%（55名中48名が修得。追試での修得者1名を含む）で、単位修得者のうち、「秀」は3名で6%、「優」は10名（追試受験の1名を含む）で21%であった。なお、単位未修得者7名は全員が出席不足であった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	上記4でも触れたように、基礎的な知識の定着に当面の力点を置いたが、そうした工夫以外でも、「後ろの数列は座ってもらわないようにする（なるべく前の方に座ってもらう）」、「1ヵ月に1度、レポートを課す」、「図表や写真などを多く使用し、視覚的にもわかりやすい講義を心掛ける」といった努力を惜しみなく行なった。今後はこういった点を活かし、さらなる努力をしたい。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など	すでに上記5でも触れたが、担当者としては様々な工夫を凝らした。そういった中であっても、どうしてもやる気の出ない、倦怠感が見られるよう な受講生もごく少数ではあるが存在し、出席不足が決定因となって単位を認定することができないということにも繋がった。可能な限り、声掛けをす るなどして、規模の小さくない講義でも極力目が行き届くように心がけたい。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	全体としては充実した講義になったのではないかと認識している。受講者55名の中にはしっかりとノートをとるなどして、レポートや期末試験で好 成績を収めた者も多い。一方、欠席が多くみられたり、せっかく出席してきても明らかにやる気の見られないような者も少数ではあるが存在した。伸 びる受講生はさらに伸ばし、やる気のない受講生には少しでもやる気を出してもらおう、日々工夫をしていきたい。
-------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
アジア観光文化地理	2・3・4	後期	選択	いいえ	66

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	1. 受講動機をみると「単位数を確保する」54%、「関心のある内容である」60%（昨年度より増えている）となっております。もっと学生の関心を引き出し、もっと多くの学生に履修してもらえるように、シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。 2 最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 3 演習の7回目にレポートを提出してもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は83点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解に関しては83.3%、意欲関心に関する問題は85%であった。それぞれの目標がやや達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、意欲関心の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。 図書館、インターネットの利用に関しては、それぞれ、6%、10%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、意欲関心に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「アジア観光文化地理」であるが、「海外研修」をつなぐ要の位置にある。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考ええる。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、評価が良かったが、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均が3.1で、昨年度より、高くなった。次年度に向けては、学生がもっと積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	「海外研修」をつなぐ要の位置にある「アジア観光文化地理」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、意欲関心を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
上級中国語	2・3・4	後期	選択	いいえ	21

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	専門基幹科目にあたる上級中国語は観光文化学科における教育の骨格となる分野の修得を深める科目である。上級中国語の力の養成に重点を置く。具体的には中国語の会話、基本的文法を学習した上に、基礎的な理解能力、表現能力などの総合能力の養成を目指した科目である。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された					達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は82点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的なレベル(概ね85点以上として、試験を作成)に達したのは、7名となった。学習による授業評価において「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均3.5と低かった。これは教科書がやや難しいことが反映されたことである。次年度に教科書の選定を見直す必要があると考える					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについて本科目は専門基幹科目であり、中国語通訳ガイド演習に繋がる科目である。学習者の総合的な視野と専門分野の理解に応えるから、内容的妥当性には問題はないと思われる。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においては「授業中に自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均3, 7、「説明は理解しやすいものであった」の平均3, 5と低かったが。教科書がやや難しいことや、復習予習の時間が想定より少なかったことが原因であると思われる。次年度に教科書の選定を見直したうえで、学生に事前に予習、復習を徹底するように促したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

専門基幹科目にあたる本科目の位置付けから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、表現能力、総合応用の面では課題を残した。じっくり復習時間が少なかったため、復習課題の提示などで改善を図りたい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	石田 もとな

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
エアライン英語	3・4	後期	選択	はい	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	3年生、4年生両方対象の科目であり、エアラインを受験したい学生、ただ興味があって取った学生など受講学生が多様であったため、学習準備に対する個人差が大きかった。昨年度に比べ、予習等を行った人数は減少したものの、予習の内容に関しては英「文履歴書を作成したり、文章を暗記したりした。」という良質なものであった。受講者がエアライン受験希望者だけではないものの、今後のグローバル化を考えると、英文履歴書の作成に関しては、予習課題とすることも妥当であると考ええる。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された					やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	例年より受講人数が少なかったため、全員が体験できるものが増えたと考えられる。アナウンスも全員に経験させ実技としての評価対象とした。学生アンケートの到達度自己評価の中で高かったものは、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた。」「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた。」「職業選択の参考になった。」であり、わざわざ選択して受けた学生ならではの評価であると考えられる。					
* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	昨年度も同じことを感じたが、当該科目はDP5のみではなく、DP1(知識理解)、DP3(意欲関心)、DP4(態度)の要素も大きいと考えられる。ひとつであれば、DP3に該当すると考えるのが最も妥当なのではないかと考える。DP5に関しても、接客用語の技能・表現の力の向上には十分役立ったと考えられるので内容は妥当なものであると考えられる。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	アンケートに、「うるさい学生には、注意した方がいい」という意見があった。言葉話す授業であるためある程度にぎやかになることについては受け入れていたが、不快に思う学生がいるということは念頭に置き、メリハリのある授業にしていきたい。「実際に体験できて面白かった」というコメントは、参加型授業の有効性を示すものであると考えている。大学は、学術的なものに偏りがちであるが、卒業後、職業につくことを考えると実践的な取り組みが可能な授業は、学生参加型の楽しみつつ身につくものにする必要があると考えている。
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	今年度は、例年に比べ「エントリーシート対策」「面接対策」等の比率を増やし、就職活動講座としても役に立つものにしようと試みた。意識の高い3年生と就職活動が終了している4年生や、まだ全く就職に関する意識のない3年生の間には、取り組み方に差が見られた。就職活動に重きを置くのであれば、それを告知して3年生の前期、後期で選択できる形が望ましいと思う。
------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	須藤 秀夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
多国籍企業論	3・4	後期	選択	はい	45

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	大切にしていることは次の点である。即ち、多国籍企業の世界各地での活動が及ぼすメリット、デメリット（問題点）などの学びを通して、現代世界の経済、社会の諸問題に学生が視野・関心を広げ理解を深めること、および、成功例や失敗例の学びを通して、企業の商品・サービスが顧客にとってどのように役立つかという視点が大事であることを学生が理解すること。これらは、学生の就職活動に役立つと学生が気づくことも期待したいところである。受講動機として、「関心のある内容である」が41.9%（前年31.6%）であり、過半数の58.1%は「単位数を確保する」などであることを踏まえ、また多国籍企業の例をあまり知らない学生が少なくないことが学生の準備性としてうかがえたので、ディズニー、スターバックスなど学生にとって馴染みのある多国籍企業を事例として採り上げることを計画した。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	「自分なりの目標を達成した」3.4（前年3.1）、「知識を新たに確認…新たに得ることができた」3.5(3.2)、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」3.4(3.0)、「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」3.3(3.0)、「自分が学ぼうとする専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた」3.3(3.0)、以上から、「やや達成」と言えると考え。また、前年より前向きな学生の姿勢が伺えて、好ましい。 また、期末試験の平均点、80.0(n=40)（前年78.6）、総合点の平均79.3(79.6)であったことから、「やや達成」と考える。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	観光文化学科のDPにある「現代社会の実態を学際的な視点でとらえ、問題解決に必要な思考力を修得」、「…ビジネスの実務で必要とされる幅広い知識…を身につけ」、「国際的視野に立った思考力を発揮」に本科目は寄与できると考える。学生が自分で選んだ多国籍企業3社について、会社概要や社会的責任などについて調べる課題を与えたが、「いろいろ調べたら楽しくなってきた」「世界（で活動している）企業のことを知ろうと思った」などの感想が寄せられたことから、前述の狙いに沿った内容だと考える。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	「進め方については、教材や資料などが何を伝えたいのかをもう少し明示していきたい。例えば、この新聞記事は授業で扱ったどの事項に関連しているか、この記事から何を読み取ってほしいか、などをさらに明示していきたい」と前回述べたが、教材では実行した。教材の中のキーワードを穴埋めの形で学生に記させること、図での説明を心掛けること、学生からの質問票に丁寧に答えることは、学生の学習意欲・関心の向上のために、引き続き続けていきたい。なお、学生からの意見について、授業中に回収する出席票（兼）質問・感想票に時々注文・要望が記されており、次の回の授業中に逐一コメントしているので、ここでの記載は省略したい。 やすくしてほしいです。（箇条書きなど）」については、心がけたいが、一方、要点を折に触れて表示しているので参照してほしい（進出先に与えるメリット・デメリット、グローバリゼーションに反対する考え方・立場など）。また、長い文章（記事）をレジュメに示しているが、学生には、細切れの言葉ではなく、文脈の中で言葉・用語（例：フェアトレードなど）を理解してほしいので、読むようにしてほしい。
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	「到達度自己評価」3.0～3.5、「授業の質評価」3.2～3.5とは、まずまずかと思う。授業2回に一度、出席票を兼ねた質問・感想票を回収しており、引き続き丁寧に回答、説明することを心掛けていきたい。今のところ、新しい言葉に慣れてもらうことに精一杯の感があるが、学生の関心・興味を高めるために、学生との議論の時間をさらに増やすことも考えていきたい。
------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	友原 嘉彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
観光社会学	3・4	後期	選択	いいえ	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	この科目は新カリキュラムのもので、留学生を除けば3年生のみの受講だったが、履修登録者は留学生も含めて34名と、観光文化学科における一学年の定員の過半数が受講してくれた。新任であり、3年生の多くとはそれまでほとんど関わったことがなかったが、楽しく講義を行なうことができた。学生達は授業後もしばしば質問や感想を述べに来てくれた。期末試験以外に中間レポートも2度課したが、概ね全員が興味を持って執筆にあたってくれ、期限までに提出してくれた。また、出席率に関しても概ね良好であった。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	上記3のように、それまであまり知らない履修者達であったが、真摯に取り組んでくれたため、熱心、かつ、楽しく講義を展開できたこともあり、85% (29名) の受講者に単位を出すことができた (単位未修得者5名のうち4名は出席不足)。単位修得者の中で「秀」は0であったが、「優」は半数近い45% (13名) であった。受講生は留学生を除き全員3年生であり、卒業論文も控えており、その執筆にも役立つよう工夫したこともあってか、受講者からも高い評価を得ることができた。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DPにもあるように、普段の授業はもとより、課題レポートや期末試験においても、知識理解と思考判断をどちらも問うようなものとしたため、本講義を受講したことにより、観光と社会、観光の社会についての教養と考察する力が涵養されたと確信している。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

基本的に教科書を基に授業を進め、一部、レジュメを配布して、わかりやすさに努めた。その結果、すでに示したように出席率が振るわなかった受講者以外はほぼ全員単位を修得することができた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

この科目では事前に受講者についてあまり知る機会が多くなったが、受講者達も熱心に受講してくれ、こちらもそれに応える形で楽しく情熱を持って授業を展開することができた。34名という数であることから、中盤までには名前と顔が一致するようにもなった。今後、受講者数がさらに多くなろうとも、なるべく1人1人に目が行き届くようにさまざまな工夫をして努力したいと考える。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
映画で学ぶ欧米文化	3・4	後期	選択	いいえ	64

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	映画を使った授業であるが、学ぶべきことの多い映画を選ぶように心がけた。そうすることで、解説も豊富になり、学生の理解も進むと考えたからである。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された			達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	受講生のうち、半数以上が「優」以上であった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	学科名に「文化」という語が入っており、文化を学ぶことは重要で、この科目の位置づけは妥当であると思われる。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

アメリカの銃の問題や犯罪について取りあげる必要があるため、結果的に暴力的な場面を含む映画を見せることになる。授業時の学生の反応を見てみると、やはりそのような映画には不快感を示しており、今後はそのようなテーマについては、映画で無理に取り上げず、解説のみとしたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

科目名には「映画で学ぶ」という言葉が入っているが、映画だけで欧米文化を理解するのは難しいため、「映画を活用する」くらいの気持ちで、学生の理解度に重点を置いた授業をしたい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	James Hicks

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語で話す日本の心Ⅱ	3・4	後期	選択	いいえ	70

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	This continuation of the first term course focused on providing Tourism Department students with an opportunity to improve their ability to explain Japanese culture to tourists and anyone else interested in learning about Japanese culture. We used the textbook “This Is Japan” (Macmillan), which focuses on traditional aspects of Japanese culture through the experiences of an exchange student and a home stay family.
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された					やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	Students were assessed on 4 criteria (attendance 30%, class work 23%, homework 22%, and a final test 25%). The majority of students received scores in the 70s and 80s.					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	Although student interest was evident, class size continues to make it difficult to engage with them individually and forced adjustments in instructional design. The skills being practiced (DP5) were both practical and useful. The average student took the opportunity to improve their skill set.
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

Goals for the next academic year will include more frequent homework assignments and quizzes to improve student focus. In addition, more preliminary writing practice using the target language should improve the average student's skill level.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

I continue to feel that a a class limit of 30 students would allow for a more productive student/teacher ratio, and more focused classroom energy. I am glad that the two departments will each have their own class next year.

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	岩井 朝子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語通訳ガイド演習Ⅱ	3・4	後期	選択	はい	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	①受講動機としては、「関心のある内容」（60％）が「単位数を確保する」（40％）を上回っていた。受講動機における英語学科との違いが示されていた。演習なので、教科書の和訳・英訳だけに留まらず、ガイドの現場でのガイディング経験を具体的に話ながら、通訳ガイドの仕事の面白さややりがいについて語り、興味を持ってもらえるようにした。 ②それぞれの授業に集中してもらうために、授業内での発話、発言、小テストを頻繁に実施した。 ③昨年の反省を踏まえ、授業内で前回の復習やまとめを取り入れた。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない			どちらともいえない		どちらともいえない
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	英語学科の学生との英語力の差が現れていた。積極的に発言する学生は特定されていた。意欲関心（DP3）については、学びを深めたいとあまり思わない学生は20%だったが、授業の課題以外の学習に取り組んだのは40%の学生で、意欲関心の達成状況については、どちらとも言い難い。全体として、「関心のある内容」として受講したにもかかわらず、その諸外国への意欲関心を引き出すことはできなかった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラム上の位置づけからみでの内容妥当性 最終的には国家試験合格を目標としているが、学生の中では、資格取得の意識は低い、学生も一定の意欲と成績を収めていることから、内容的には妥当であると思う。 ②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 地域や諸外国への関心という意味では、一定の関心が見られたが、職業マナーやホスピタリティの精神を身に着けるという面では、内容的妥当性を判断できない。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

自由記述にも見られるように、時間が足りないと思う学生がいたので、今後は、考える時間、討論する時間を増やし、学生が充実感を持って授業が終えられるようにしたい。また、課題以外に興味のある話題を提供し、自主的な学習を促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

資格試験合格を目標とする授業ではあり、動機付けに苦慮することもあるが、ガイドというキーワードから観光を連想させ、学生には興味湧く科目だと思う。ホスピタリティやグローバル化といったトレンドとなる流れから、具体的な経験をより多く伝えることによって、課題以外にも英語、観光に自発的に興味を持ってもらえるように改善していきたい。授業の終わりに、内容の整理を行ったり、復習を行い内容の定着をはかりたい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	木沢 誠名

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
旅行商品企画論	2・3・4	後期	選択	いいえ	43

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	課題解決型授業である。北九州または学生の出身地の「着地型観光」商品を造成し、それを発表する授業とした。そのためには、設定した地域のフィールドワークが不可欠であり、1年次に履修した「観光フィールドワーク」の手法を用いて実行させた。履修していない学生のために1コマを割いてフィールドワークの手法を説明した。また、商品化には「マーケティング」の知識が必要であり、他のマーケティングの科目を履修していない学生のために、その基礎的知識も講義した。社会人基礎力醸成に役立つ授業となっている。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終の商品発表を聞いて判断した。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	前々項のとおり。
---	-----------------

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

特にない。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

特にない。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	篠原 征子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中国語通訳ガイド演習	3・4	後期	選択	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は中国語通訳ガイド演習で、実際中国語を使ってガイドすることを練習するものである。案内したい景観を選んで、その概況、歴史、楽しみ方などを中国語で紹介したり、買い物案内、食事案内、病気など緊急事態の対処などを練習することを通して、学習者に分かった、できた、通じたという喜びを感じさせ、中国語を話せる自信を付けていくことが、授業の実施にあたりもっとも大切だと考えた。今回の受講動機を見ると「関心のある内容である」が87.5%で、そのほか「単位数を確保する」37.5%であったが、到達度自己評価の(5)自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができたの項目では中央値は5.0で、平均値は4.2であった。(8)コミュニケーション力や表現力を高めることができたの項目でも中央値は5.0で、平均値は4.2であった。この授業は成果があったと言える。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された		達成された	達成された	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は81点であり、再試対象は0名であった。全員が標準レベルに達し、理想的なレベル(おおむね85点以上として試験を作成)に達した学生は3名と、まだまだ限られていた。 学生による到達度自己評価において、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができたものの平均値は4.1で、中央値は4.0で、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値は4.2、中央値は5.0であったことから、おおむね教育目標達成したと言える。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置付けからみての内容の妥当性 本科目は観光文化学科の「専門教育科目」という重要な位置にある。受講者に中国語を話せるだけでなく、中国の文化、風習、中国式の考え方も把握してもらう必要があった。日本と比較しながら、学生が理解しやすいように授業を工夫した。また、学生も一定の成績を収めていることから、内容的に妥当であると考え。 ②DP、行動目標から見ての内容の妥当性 「成績評価」と「学習到達度自己評価」などの平均値から見て、内容的には妥当であったと考える。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価を見ると(1)(2)(3)の平均値は4.2で、中央値は4.0、(4)(5)は平均値は4.6で、中央値は5.0であることから、大多数の学生は授業の趣旨を理解し、授業の進め方を肯定し、真剣に取り込んだ。授業内容や進み方は学生に適していると考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

「専門教育科目」の位置づけから、中国語通訳ガイドの技能を鍛えることについてはおおむね達成できた。
授業以外の学習方法の指導、とくに図書館の利用に関しての不足点は来年度に改善を行いたい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	須藤 秀夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ビジネス ファイナンス	3・4	後期	選択	はい	58

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	重視していることは、企業の決算書を読めるようになること、種々の数字の扱い(外為損益、債券の利回り、EXCEL表計算を使つての業績の将来計画など)に馴染むことである。そうした知識、能力は就職活動で、また社会人になってから必ず役立つからである。 開講時の学生の学習準備性として、ほとんどの学生がおカネ回りの事前の十分な知識をもっていないので、基礎知識の伝授(例えば、元本と金利、ドル高円安・ドル安円高、借入と株式発行の違いなど)を計画した。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	全体については、「自分なりの目標を達成した」3.1(前年2.8)から、「やや達成された」と思う。成績はまずまずであり、前年比で改善されたことから、そう言える。即ち、期末試験平均70.3点(n=54)(前年66.2点(n=60))、85点以上3名(前年1名のみ)、最高点94.7点(前年89.5)、総合点平均76.0点(前年69.7点)であった。 「知識理解」については、「知識を確認…新たに得ることができた」3.2(前年3.1)から「やや達成」と考える。「判断する力を得ること」3.1(前年2.9)から「思考判断」についても「やや達成」と考える。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	観光文化学科DPの中の「現代社会の実態を学際的な視点でとらえ、問題解決に必要な思考力を修得」、「ツーリズムとビジネスの実務で必要とされる幅広い知識…を身につけ」に本科目は数字面の分析等から寄与すると考える。内容的には、基本的知識を扱うものであり、就職活動や社会人の知識・スキルとしても求められるので、妥当なものと考えており、今後とも続けていきたいと考える。 前回「一部(投資の可否等やや高度のもの)は削除することを考えたい」と述べたが、現在価値による投資判断などは実際のビジネス社会などで多用されているので、引き続き簡単に扱った。 「なお、DP3の「意欲・関心」につながるものもある、今後DP3をも含めることにしたい」と述べたが、評価にDP-3を含めた。また、EXCEL表計算の学びも含むので、DP5(技能・表現)も評価に含めた。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	「説明は理解しやすいものであった」について、「全くそうでないと思う」が遺憾ながら7名おり、成績不振の学生数とほぼ同数であった。理解度が十分でなかったと思うので、彼女らを後押しできるように、進め方は改善したい。質問票での丁寧な回答などは心がけたが、質問票に何も書かないまま、理解できずに学期を過ごした学生が少なからずいるので、授業中指して、意識を高めさせることや個別指導などを検討したい。個別指導については、再試験前の指導を予定していたが、再試験に至らなかった者が数名いた。 期末試験（60分）に加えて中間課題を2つ提示したことについて、「課題が多い」とのコメントが5件あった。「説明が分かりにくい」と述べた学生からの不満が重なっているようである。課題については、従来から10年以上この分量であること、財務分析と表計算による収支計画という実務スキルを習得させたい狙いであること、例示に従って取り組めば難しいものではないことから、過重とも思えず、減らす考えはない。 「席を指定しなくても良いと思う」については、私語を止めさせるために学籍番号順に座らせたものであり、静かになって学習環境が改善したとの他の学生の声もある。デメリット・不都合が特にない限り、今後も時に採用する方向で臨みたい。私語は、本科目のような数字を扱う授業では、大きな妨げとなるからである。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	成績は平均としては前年度より改善、また成績優秀な学生が増えていることは好ましい。課題としては、上述の通り、難しいと考えたまま理解できていない学生をいかに後押しするかであり、個別指導などを促してみたい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	若菜 啓孝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
マルチメディアツーリズム	3・4	後期	選択	いいえ	58

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	これまで観光コンテンツづくりは第1種・第2種旅行業中心であり、「発地型旅行」が殆どを占めていたが、「手配する方法」「現地で活用」「旅行者同士で共有」などの場面で、インターネットが活用され、旅行者の観光行動も大きく変化している。さらに、これらの観光情報はブログ作成などにより個人で発信することも可能となっており、観光分野におけるICTの利活用は必須のものとなっている。よってこの授業では「観光情報学」「地理情報学」の観点で、授業展開を行うものとし、これまで学んでいる旅行関連の科目を中心とし、ICTの活用方法に興味を示し、さらには、グループで制作物を作成することにより、コミュニケーション能力の育成もできるように授業を組み立てている。授業資料に関しては、独自でレンタルサーバーを借り、LMSを利用した資料の提供、振り返りシート、課題提出を行わせている。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	どちらともいえない		やや達成された		どちらともいえない
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	①SやAに相当する学生数は25%程度、Bに相当する学生は40%、Cは35%程度となっている。これらの成績は前年度の学生の状況を鑑み、基準を設けたものとなっている。 ②難易度を少し抑えて、ゆっくりと進行し、グループワークにより相互に教えあう形態もとったが、到達目標には達しない学生も出てきた。 ③「学習量の評価」とも関係し、不可のレポートはやり直させるなどの検討を行った。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上からの内容的妥当性 これまでに学んだ観光関連科目、情報科目の両方を兼ね合わせたものであり、内容的には妥当である。 ②DP、行動目標からの内容の妥当性 意欲関心の面では、一般生活および観光関連で利用しているIT技術などに興味を持たせることができ内容的には妥当である。しかしながら、コーディング作業が必要な時限においては、ついてこれない学生もいたこと、例題はできるが応用できない点など、技能表現の面では別の手法も検討する必要がある。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

①昨年度より難易度を低くしたこともあり、質問等の割合も少なくなり、レポートの提出状況も改善したと思われる
②前年度に比べ、課題に関してはできるだけ時間内に終わるものを多くした。しかしながら、授業外学修も必要なはずであるにも関わらず、量が多いと不平がある。大学の単位の在り方など再度説明する必要がある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

興味関心を示す点では達成できた学生は多く見られたが、最終のグループ課題に関しては、他人任せの学生も多くみられ、何らかのチェック・評価が必要に思われた。また、個人のレポート課題に関しては、昨年度に比べて、期日内に提出されたものが多かったことはよい点としてあげられる。また、実習の時間を多く取っているいるが、受講生が多いため指導の点には常に頭を悩ませる。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	木沢 誠名

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
航空産業論	3・4	後期	選択	いいえ	67

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	航空産業のしくみ、課題などを総合的に教授した。なかでも実生活で学生が興味を持つテーマである「格安航空券」や「LCC」は、特別な「章」を設けて講義した。しかし、社会なテーマである「空港間競争」や「航空政策」などは、理解も深くなく、興味も薄いようであった。職業的興味喚起で、「キャビンアテンダント」や「グランドスタッフ」についてはDVD（テレビ番組から）を見せた。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	毎回の授業コメントから判断した。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	前々項のとおり。
---	-----------------

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

特にない。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

特にない。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ホテル・ブライダル論	3・4	後期	選択	いいえ	66

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	この科目に近いものとして「宿泊産業論」があるため、内容が重複しないように心がけた。つまり、ホテルのことよりもブライダルに重点を置いた授業を行った。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された			達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	受講生のうちの半数以上が「優」以上の成績であった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	観光業界の一分野であり、これから伸びていく分野でもあり、この位置づけは妥当であると思われる。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示ください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、
インターネット利用」学生の意見など

「字が汚い」という意見があった。努力して改善をしたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

テキストが難解であったため、それを分かりやすく説明するのに苦勞をしたし、学生も苦勞して内容の理解に努めたようであった。次年度はもう少し
学生のレベルにあったものにして、学生の満足度をさらに上げたい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	友原 嘉彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎演習B	1	後期	必修	はい	26

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は2クラスから成り立っており、どちらも内容はキャリアを考えることとレポートの執筆についてであったが、教科書など授業に用いる素材はそれぞれの担当者が決定した。担当したこのクラスでは「常識を疑う」という大学生に求められる教養についてさまざまな資料、事例を基に講義を展開した。とりわけ、論理的な考え方、数字による説得性を強調した。その結果、学生達は自由な発想を身に付けることができ、課題レポートなどを読んでもこれが定着していることが窺えたため、全体として授業が有意義なものになったと確信している。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された			達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	授業は真摯にわかりやすく行ない、また、受講者各人の努力もあって単位修得率は96% (26名中25名修得。なお、未修得者1名は課題レポートの不提出による) と高い数値を出すことができた。単位修得者の中で、「秀」の者は3名で12%、「優」の者は4名で16%をそれぞれ占めた。4名に1名以上が「秀」か「優」という優秀な成績を収めた。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は演習であり、期末試験を実施しないため、レポートを計3回提出してもらった。内容は概ねよく、枚数や締め切り日も概ね守られていた。来年度は全員に単位を修得してもらえるようにさらに真摯に努力したい。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	「演習」科目ということで、特に双方向の授業を心掛けた。受講生には授業中に積極的に意見を訊いたり、また、上述のように1ヵ月に1度、A4用紙2-3枚程度のレポートを提出してもらったりした。その結果、自分で考えるという作業に慣れてもらうことができ、今後の学生生活や人生に繋がる一助となりえたと考える。
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	すでに示したように授業の工夫や丁寧な対応により、概ね良質な講義となったと考える。一方で全員が単位を修得できたわけではないので、より1人1人とのコミュニケーションを密にするとといったことは、次年度以降に改善できるよう真摯に努力していきたいと考える。
------------------------------	--

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎演習B	1	後期	必修	いいえ	24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	基礎演習Aに続き、大学生として必要な基礎学力を達成することが行動目標であるが、この科目だけで達成されたとは言い難い。年間を通した体系的な授業構成が検討課題である。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	やや達成された			やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	知識理解（DP1）、思考判断（DP2）、技能表現（DP5）については、到達度自己評価の評価により、やや到達が妥当と判断する。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	アンケートの学習到達度自己評価では目的をやや達成しているため、DP、CPとの内容妥当性もやや評価できるとする。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学習量レベルが低いため、課題提出等の工夫によりレベルアップが必要と思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

基礎演習Aに続き、大学生として必要な基礎学力を達成することが行動目標であるが、この科目だけで達成されたとは言い難い。年間を通した体系的な授業構成が検討課題である。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習ⅠB	2	後期	必修	いいえ	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	2年前期までで習得した「読む、纏める、書く、発表する」能力を発展させるために、その「社会人基礎力」の内、本学学生が比較的苦手とされる実行力、課題発見力、発信力等の演習を通じて身に付けさせるための授業である。学習ゲーム「記者会見」「論文文章の書き方」「フレーンストーミング」「ディベート」「F Wと統計処理の仕方」などの豊富な課題を提供し、実践してもらった。例えば、新聞記事の課題①記事タイトル、②内容説明、③問題意識、④講評（自分の考え、意見を書き、発表する）の演習をしていた、効果が高かった。学習ゲームを取り入れ、学生が議論や問題解決の手法を習得し、学習状況を確認するようにした。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された			達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は80点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達した。理想的レベル(90)に達したものは21名に達した。学生による授業評価においては、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均が4.0となった。「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」の平均が3.9となったと高い評価ができたが、「自分なりの目標を達成した」ことに関しては、平均が3.7と低かった。思考判断では、与えられた課題を解決する際に知識をどのように応用するか、また多様な方法で問題点や課題を獲得し、整理してもらう力を養っていきたいことを検討する。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置付から見ての内容的妥当性 本科目は「専門応用科目」であるが、「専門基礎科目」「専門応用科目」をつなぐ要の位置にあり、必修である。学生が様々な課題に応えるようにこ工夫し、学生も一定の成績や効果を収めていることから、内容的には妥当であると考え。 ②DP、行動目標から見ての内容的妥当性 成績評価から思考判断に関する達成が比較的高かった。。領域の成績からも内容的には妥当であったと考える。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が4.2と高かった。「口頭、文章等、何等かの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均が4.2と高かったが、「説明は理解しやすいものであった」の平均が3.8しか留まらなかった。次年度には説明配慮に工夫していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

専門応用科目である本科目の位置づけから、基礎的知識の形成については、概ね達成できたが、思考判断の面では課題を残した。
以上から、毎回の狙いを具体的に示すこと、可能な限り考える時間を取ることや、課題復習を意識的に提示することなどで改善を図りたい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	木沢 誠名

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習ⅠB	2	後期	必修	いいえ	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	必須科目であり、1年次の基礎演習を踏まえて、継続性を持たせることに留意した。しかし、それだけでは、「演習」の目的が達成できないので、PCスキルのワードを活用した「書く」技能、パワーポイントを活用した「発表する」技能、エクセルを活用した「分析」する技能の3つの技能を高める工夫をした。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	毎回の授業コメントから判断した。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	前々項のとおり。
---	-----------------

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

特にない。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

特にない。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅱ	3	通年	必修	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	演習研究科目の総仕上げである卒業研究で卒業論文を書くことを次年度に備えての授業となる。基礎的な文献を読むことができる力を養い、自主的に課題を見つけてその解決方法を見出す取り組みができるように課題を出した。受講動機は、「必修科目であること」が66.7%、「単位数を確保する」が33.3%、「関心のある内容である」「友人が履修している」が共に16.3%であり。動機づけとしては望ましいと言える。到達度自己評価には、（１）～（１０）の全ての項目で、「③まあまあ思う」以上であった。学生は学生なりに到達目標を積極的に設定していたものと推定される。授業は基本的には、かなり読みやすい多読の英語の本を輪読することである。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	達成された	達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	新聞の社説をペン書きで写す。新聞社の読者の声のコーナーに投稿するという主に授業外の活動を4年の7月まで続けるという計画を3年最初に説明して、継続的に行ってきた。確実に思考力が伸び、それを具体化する論理的な表現力も伸びてきているそれは、新聞の投稿の採用率が、クラス全体としてはおそらく15%ぐらいであろうことから証明される。身の回りの話題から、社会性のある話題へと知識・関心の枠組みが広がりは始めている。当初の幼さが残る文章から大人の文章を書くことが次第にできるようになってきており、地道な活動ながら着実に伸びてきている。新聞・雑誌を読むことを投稿の前提とした。通年科目であり、2年間（3、4年）を見渡した二年間の計画を3年前期に何度か示している。それに応じて、学生は「情報収集」で、シラバスの活用については参考にしたが、6名中4名。計画の立案も同様であり、提供された情報を活用しているのが、三分の二である。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	四年間の演習研究科目内での最後の位置づけとして、合理的な配置だと考えられる。2到達度自己評価では、「かなりそうだと思う」はないが、「事象（自然、人、社会、歴史など）を理解できる視点や考え方を得ることができた」が、平均値3.5であった。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	アンケートからは、学生はこの授業を復習重視ではなく、予習重視で対応している。授業受けっぱなし的な取り組みが散見される。4 学習量の評価で（2）授業を振り返るために、1 回 3 0 分程度以上の復習をどのくらい行いましたか」に対して、0回が、6人中の4人いる。また、（4）授業の課題以外に学習に取り組みましたかに対しては、①していないが3人、無回答が3人であり、まだまだ甘い授業であり、もっと勉強させる課題を与える必要がある。また、学習を自主的に行わせる整える必要もある。
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	大人しい学生たちのゼミであり、取り組みの態度、意欲は、多様である。地道にこつこつと取り組むグループと、地道な取り組みはないが、授業中には目立って発言をするグループとに分かれている。少人数（7名）のゼミであり、自分の意思で選んだゼミでの活動を誰もが盛り上げていくことができるように学習集団を作り上げていきたい。まだまだ未成熟なコミュニケーションをする人もいるが、潜在的には、競い合い協力し合うことで、刺激を受けて、全体として伸びることができると確信できる。大人しいということで、一人ひとりが孤立してしまいがちな雰囲気であり、グループ学習をさらに取り込んで、コミュニケーション能力全般を伸ばす手立てを考える必要がある。
------------------------------	--

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	須藤 秀夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅱ	3	通年	必修	はい	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	学生が、自分で関心をもてる経済・ビジネス・社会の事象をとらえ考えること、あるいは、その考える姿勢をもつこと、また、質問する力を向上させることを重視している。後者は、諸事象への関心や物事の本質をとらえようとする力の向上につながるからである。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	全体については、「自分なりの目標」3.8(前年3.4)から「やや達成」と考える。「知識」4.1(3.6)、「視点や考え方」3.9(3.4)、「学びを深めたい意欲」3.9(3.0)、「コミュニケーション力」3.5(3.5)から、「やや達成」と考える。また、前年度より数値が上昇したことは、学生が前向きに取り組んでいる証左であり、好ましいと考える。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	観光文化学科DP1[知識・理解]の「社会人としての基礎的な学力」「ビジネスの領域についての幅広い理解と知識」、DP2[思考・判断]の「現代社会の実態を学際的な視点でとらえる能力、問題解決に必要な思考力」、DP3[関心・意欲]の「地域や諸外国の問題への関心」、DP4[態度]の「職業としての礼儀作法やマナー」、CP5[技能・表現]の「情報処理の知識と技能等」に、本科目は資すると考える。内容はますます妥当と考える。10年以上続けている外為模擬ディーリングは、やや内向きな関心の強い最近のゼミ生にとって関心が薄いかもしれないが、世界経済、日本経済を理解する上でのツールとして続けたい。社説を扱うが、学生が普段あまり目を向けられないものの、現実に行っている事象に関する情報や知見に接し、考察する材料として、続けていきたい。就職活動を意識して、関心のある企業のサプライチェーンや業界構造の研究に取り組みしたが、効果があると思うので、続けたい。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

一学生の発表・議論に他の学生を関与させ学生間の議論の場を多く持つこと、学生に様々な局面で他学生や教員に質問させることは、積極性を引出し、物事への意識向上につながるので、また、就職活動でも役立つので、今後も続けていきたい。現在発展中の経済社会事象（例えば、IoT:Internet of Things等）について教員の知識を向上させ、ゼミ活動に反映させたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

到達度自己評価の各項目が、3.5～4.1であるので、学生たちは学習の姿勢、研究への取組みを向上させていると考える。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅱ	3	通年	必修	はい	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	後期に他のゼミから移って来た学生については、特別な配慮を行った。具体的には、以下のとおりである。1前期で学んだことを確認した。2後期で学びたいことを確認した。3前期で学んだことを活かしつつ、後期で学びたいことについて私自身が指導できることを検討して授業の組み立てを行った。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	全受講生の成績が「優」以上であった。学生の自由記述において、教員に対する感謝の言葉があった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	この科目は、2年次までに学んだ専門科目の集大成と言えるものであり、位置づけは妥当であると思われる。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「考え方の幅が広がる」という意見を述べた人がおり、1年間指導をしてきたことについて、よく理解してくれていることが伝わります。4年生になって卒業論文を執筆する時には、そのような幅の広い見方を存分に生かしてください。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

受講生の満足度が高かったが、来年度は、受講生が増えるため同じような授業方法というわけにはいかない。授業の最初の方の雰囲気や学生の準備状況を参考にしながら、臨機応変に授業方法を考えたい。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅱ	3	通年	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①専門演習Ⅱは4年生の卒論研究教育への円滑に行うための研究演習教育として位置づけ、まず視野の広げ、判断力、分析力の学習方法を身に付けてもらう。ゼミに所属して専門的に学ぶ。「研究」「多読」「レポート作成」「文献の探し方」「発表の反復」などにより実践的な力を身に付けることを目指す。②昨年度までと同様、授業の最初に学習準備状況の確認アンケートを実施した。学習者の関心事を再度確認した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は80点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル(概ね90点以上として総合的に判断作成)に達したものは2名と限られた。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CPカリキュラムマップ上の位置付けから見ての内容的妥当性、本科目は専門演習科目である。卒業研究をつなぐ要の位置にあり、必修である。内容的に妥当であると考える。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価においては「授業中に自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が5.0となった。 「説明は理解しやすくものであった」お平均は5.0と高かった。なお図書館利用においては、「この授業では図書館の図書、雑誌を利用した」の項目は基本的に利用しなかった。今後出来る限り図書館の利用習慣をつけていくように促していきたい。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	専門演習Ⅱは専門的知識の形成、判断力、分析力、実践力の養成については概ね達成できたが、ゼミの担任として常に連絡し、指導をしっかりと する必要がある。
-------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅱ	3	通年	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	①受講動機をみると「必修科目である」１００％となっているが、他の項目は０％となっており、履修者が「専門演習Ⅱ」では、何を学ぶかについて、まだよく理解できていないことが分かる。シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。 ②最初のゼミにシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③月に１回程度、卒論の発表をしてもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。 ④月に１回程度、就職の指導を行い、学生の就活に役立つスキルを伝授した。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は８９．７点であり、再試対象は０名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解に関しては８６％、思考判断に関する問題は８６％、意欲関心に関する問題は８６％、態度に関する問題は８６％、技術表現に関しては ８６％であった。それぞれの目標がやや達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現の観点での自己評価に差がないことが示された。 図書館、インターネットの利用に関しては、それぞれ５７％となっている。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「専門演習Ⅱ」であるが、「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあり、必修である。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、各項目については、評価が良かった。特に「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の評価は良かった。次年度に向けては、学生がもっと積極的に参加できる機会・環境を作っていきたい。
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあるとの位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、思考判断、技能表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。
------------------------------	---

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	木沢 誠名

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅱ	3	通年	必修	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	ゼミの実習拠点である「れとろこまち」の運営を中核に、社会人基礎力の向上に努めた。特に、土日に行う北九州市立大学との共同事業や、地域の商店主、観光事業者との協業を重視し、座学ではそれらの経験をPDCAサイクルに沿って議論した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	特に根拠はない。本人たちとの議論でそうに判断した。また、昨年引き続き経済産業省主催の「社会人基礎力育成グランプリ・九州沖縄大会」に出場し、よい成績をあげることができた。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	特記すべきことはない
---	-------------------

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

特記すべきことはない

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

総合的にいい評価ができる。特に課題はない。

リフレクションカード 2016年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅱ	3	通年	必修		10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、自由記述の意見など	マーケティング、広告宣伝、メディアの理解と課外活動体験を通してマーケティングマインドの醸成と4年次の卒業研究へのステップとして学生自身が計画を立案できる授業構成および就職活動準備指導に重点を置いた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 ＜授業評価の指標＞ 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	アンケートの学習到達度の自己評価、授業の質の項目については各項目について中央値以上の数値が認められるためやや達成されたと評価する。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 ＜授業評価の指標＞ 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	アンケートの学習到達度の自己評価、授業の質など項目について概ね中央値であるため内容的妥当性はあると評価する。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

就職活動指導とマーケティング理論の基本的理解、課外活動との時間的配分が計画通りに行かなかった。あらかじめ学生に時間配分をオリエンテーションする必要がある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

科目達成状況としては概ね達成と評価するが、上記の通り、マーケティングの基本学習量の確保・向上と就職活動指導の計画の時間的配分が課題。